京城日報

十一月十日夕刊(朝夕併せて八頁)

◇獨逸政府に抗議
米國務卿書翰交附

米國務卿ランシング氏は瑞西公使を經て獨逸に書翰を交附し白耳義にある獨逸官憲が各很藏會社に對し爲せる無謀有害なる行爲は故意に出でたる殘忍無情なる行爲と見做さざるを得ず若し獨逸にして十月二十日附宣言に全然背反する斯かる行爲を傍觀許容するに於ては獨逸政府の嚴肅なる證言も其の誠意に出でたるものに非ずとの事實を確定するに至るは疑ひ無しとて嚴重抗議を發せり(華盛頓電報)

◇對獨條件諾否如何

獨逸は近くヴエルサイユ會議にて決定されたる休戰條件を承諾す可きや否やにつき其意圖を表明す可しと豫期さる(アムステルダム電報)

◇獨逸國民に布告

獨逸政府は人民に對し布告を發し若し講和の遲延せざらん事を欲せば人民は秩序を維持す可きを勸告せり(華盛頓電報)

◇吾人は戰いて勝てり
佛國首相の對獨休戰條件宣言

佛國首相は五日議會に於て宣言して曰く獨逸に對する休戰條件は勃牙利、土耳其墺太利に課せられたる條件に基づきて作製せられたるものにして(一)聯合國軍隊の安全に關する軍事上の保障(二)戰鬪行爲の再開の場合に於ける聯合軍の制先力の維持(三)戰鬪行爲の再開を阻止するに必要なる程度の敵の武裝解除を含む、首相は尚ほ附加して曰く『吾人は尚快つ處あらざる可からざるも而も戰ひて勝てり』と首相が右の宣言を爲せる時議員と聽衆は熾に拍手喝采せり(巴里電報)

◇ウ氏と追加條件

米國々務卿ランシング氏は獨逸に傳達を依頼する爲め瑞西公使に送りたる通告に於いて聯合國はウイルソン氏の講和原則十四箇條中二項の保留を爲して採用せる事を明かにせりウイルソン氏は講和條件中右二項の變更及び追加に同意したりと報ぜらる(紐育電報)

◇獨皇帝退位せず

紐育來電=ロッテルダムよりの通信に依れば獨逸皇帝は當分帝位に留ることに決定せり右は政府が政黨首領等と會見し長時間論議を鬪したる結果として到達したる結論に基づけるものなりと(東京特電)

◇墺匈國混亂極度

墺匈國は秩序全く紊れ混亂名狀す可からず兵卒は續々脫隊し爭うて軍事用貯藏品を掠奪し家郷に遁亡しフオラルベクには共和國建設を宣言し且つ國民軍を編成し以て財産保護の任に膺りつゝあり(倫敦電報)

◇米軍セダンに入る
佛國領土及び非戰鬪員釋放

セダン戰線よりの報に據れば米軍はムーズ河の西岸に於けるセダンの一部に入れりメッツ要塞北部佛國西、白耳義間に於ける獨軍の主要なる側面交通線は敵軍の途には適用應せざる可く思惟さる十一月五日以來米軍の獲たる捕虜は六千に達せり米軍はムーズ西方同軍活動區域內にある佛國領土全部を釋放し尚非戰鬪員二千を解放せり(華盛頓電報)

附記 セダン、巴里東北百六十四哩、名高き要塞地、普て奈翁三世獨軍に圍まれ降服せる地なり

◇西班牙內閣總辭職

巴里來電=西班牙內閣は五日來年度豫算案を議會に提出し翌六日下院議決を求めたるに意外にも院內の空氣政府に不利なるものあり加ふるに重要なる政治問題に關し閣員間に意見の扞格あるの事實現はれたるを以て即日政府は總辭職を爲せり後繼內閣に關しては未だ何等定まるところ無し(東京特電)

◇匈牙利獨軍通過拒絕

倫敦來電=匈牙利政府はダニューブ戰線方面に於けるマッケンゼン將軍麾下の獨軍六個師團の退却に際し匈牙利國內を通過するの交涉に對し之を拒絕したるが右獨軍は此結果高加索方面に於ける獨軍砲兵と共に聯合軍に引渡さるべし(東京特電)

◇在支獨逸人拘留

北京來電=井陘炭坑總辦ハンネッケンは六日午後又前獨亞銀行支配人コルデスは七日午前何れも房山縣石佛寺の敵國人收容所に護送拘留せられたり是支那政府に於て聯合國政府の發舉十二箇條の一部を實行せるものなり(東京特電)

◇鮑督軍兵器購入

先月來兵器購入の爲め大連に出張中なりし黑龍督軍張副官等一行は九日朝歸來せしが購入兵器は大砲、小銃及び彈丸等多數にて滿鐵貨車にて十七輛を列ねて到着せり猶て輸送援助の爲め來長運動中の李副官其他と共に直ちに寬城子に輸送する事となれり(長春特電)

◇御慰問使南下

出征軍慰問の爲御差遣の中山侍從武官は八日夜來長九日朝南下せり(長春特電)

◇唐紹儀歸國

唐紹儀氏は八日午前十一時急遽歸國の途に就けり(東京特電)

◇ホ將軍秘書長

ホルワット將軍秘書長ウイリアムオカロウイツチ、クレム氏は九日朝來長公用を帶び南下せり(長春特電)

◇丁抹領事南行

イルクック駐箚丁抹領事イオンス、メルレルゴリス氏は公用にて九日朝來長正午北京に向け南行せり(長春特電)

◇外交調查委員會開會期

外交調查委員會は十三日開會に決せり(東京電報)

◇政友會大阪支部總會

政友會大阪支部總會は九日午後三時より北陽演舞場に於て開會せられたるが當日は雨天なりしに拘らず會する者三百餘名頗る盛會なりき定刻に入るや支部常任幹事湯淺豐太郎氏開會を宣し座長に植場幹事を推して議事に移り左の決議を可決せり

一、我黨の主張に係る選擧法の改正を實行し以て憲政の濟美を期す
一、文官任用令を改正し大いに門戶を開放し人材を登用して事務の刷新を期す
一、稅制の整理殊に課稅の均衡を計り以て戰時及び戰後の經營に遺憾無からしめんことを期す
一、產業政策を確立し以て益國運の隆盛を期す
一、速かに通信機關を完備し以て其効用を全からしめん事を期す

次に支部規約改正の件を滿場一致を以て可決し夫より本部より特派せられたる岡崎總務江藤相談役外數氏の演說ありたる後今回新に選任せられたる支部協議員の氏名を報告し閉會尚ほ午後五時より祝賀會を催したり(大阪特電)

◇砂糖輸出と米
政府承認

外務省發表=砂糖の比島輸出に關しては從來米國戰時通商局の承認を必要とせるが今般在馬尼拉相原領事代理より向後米本國より何分の訓令ある迄は戰時通商局の承認を要せざる事となれる旨來電ありたり(東京特電)

◎墺匈國の亂脈
支離滅裂狀態

墺匈國政府は新聞紙の檢閱を全廢せるため情報誇張に失する傾見受けらるゝもの少からざる所十月卅日維也納及びブタペストに革命起り殊にブタペストにては鎮壓のため派遣せられたる四個聯隊國民參議會に加擔し

▲共和の宣言 を爲せり

この情報あり墺國諸民族が其獨立のために必要なる各種の政治機關を設け分離運動日に盛んに成りつゝあるは疑ひなきもの▲如く例へばアグラムに於てはスラブ國民參議會政府を設けボザニック首相となりサラジエヴオは大セルビヤ王國建設の計畫ありフエルヂナンド大公暗殺の連累者として處刑中の者を解放しガタコツ、ウクライナ其他の地方にても各國民參議會建設の由なるが墺部獨族又政府を設けアドレルを外相少佐マイエルを

▲陸相に任命 し此等閣員は十月三十一日國議を維也納に開き國民參議會員も之に列席せり右閣員中の數名は十一月二日アンドラシイ伯が大統領に送りたる同牒に關聯し同伯を好ましからざる外國人として墺、獨逸より直ちに放逐せんことを要求する決議をなしたりと云ふ而して匈牙利にてはチッサア伯散步中に狙擊殺害せられチザアン、サヂッグ伯內閣は成立後直ちに顚覆し十一月一日カロリー內閣組織せらる同內閣は匈牙利人一般の氣受け良しとのことなるが其政綱中に國體問題即ち匈牙利を共和政體とするや否やの問題は六週間以內に普通直接無記名投票に依る選擧にて選擧(未選擧には女子も參加する者とす)せられたる議員より成る立法議會にて之を決定すべしとの綱目ある爲國王に

▲忠誠の宣誓 を爲すを拒み國王之れを承諾せりといふ而してアンドラシイ伯は辭職し外務省員ストゥ臨時事務を執るに至れるが一方匈牙利政府はダニウブ諸地方官憲に對し匈牙利領內に在る獨墺船舶を抑留し其の船貨を差押ふべしとの命令を發したり(東京)

◇極東露領敵軍掃蕩
我軍氷雪裡に守備

陸軍省公表=極東露領にて數萬の獨墺俘虜過激派軍は我軍の挾擊に遭ひ今や全く其蹤跡を晦ませるが我軍は廣大なる地域に分散し氷雪裡に守備に任じつゝありされど尚我威力の及ばざる地方には出沒常なし十月十九日はスレドウチベーヤラ停車場附近にて同廿三日はオリドイ北方約ニコラエフスク東方村落にて廿五日はアレキセフスク西方スウオドリにて少數の敵出沒したるを以て守備隊を派遣し之を掃蕩せり(東京特電)

◎滿洲特產減收

本年滿洲各地一般作柄は春季播種期以來天候順調なりしかば農作物の發育は極めて良好にして一般に豐穰を豫想されたるが七八月の交に於て水害を被りたる地方ありたるも被害程度は案外僅少にして又水害後の蟲害も一般に顧慮せられたる程にもなかりしを以て實收には大なる影響なく水害を被りたる地點は重に運河其他の流域にして該地點には多く高粱及び包米等を耕作せられ當時已に成熟後なりしこと被害後に於ける天候良好なりしことを以て大いに雨後の恢復を早めたり而して本年の大豆は發育結實共に極めて良好にして只大豆、高粱、粟、包米等の成績良好なりしに反し小麥は成熟期に於ける降雨の多かりし爲め大いに其收穫を減ずるに到り此等作物を平年作に比すれば大豆七分作、高粱八分作、粟六分作、包米八分作、小麥三分作平均本年作柄は八分作見當と稱せらる今濟陽縣地方に於ける鐵入後の一天地收穫豫想と前二ヶ年に於ける收穫高とを比較すれば左の如し

年度	大豆	高粱	粟	包米	小麥
大正五年	五、九〇	八、〇〇	五、五〇	六、〇〇	四、〇〇
同六年	四、九〇	五、〇〇	四、五〇	五、〇〇	一、〇〇
同七年	五、〇〇	五、〇〇	四、五〇	六、〇〇	二、〇〇
平年	六、〇〇	六、〇〇	五、五〇	六、五〇	四、〇〇

(單位石)

◎鮮銀の講和警戒
兩三日中に各支店出張所に對し通達せん

朝鮮銀行にては戰局講和期に入りて前途大に警戒を要するに至れるを以て兩三日中各支店出張所に對して相當金融上の自戒策を通達する事となりたり

▼吉田局長談

右に付き吉田營業局長は曰く各店の警戒通牒は八月吾が西伯利亞出兵の朝議決定せる際之れをなしたが更に近く再度の通知を出さうと想ふ然も

▲今回の警戒 は前回とは異なり意味も深く範圍も廣いものであつて事實講和期に入る事となれば各種の點に於て對應策の講究を怠つてならない從て講和の成立は如何であるかと云ふに新聞其他の情報により按するに聯合國の對獨休戰要求は隨分峻烈なるので正に獨逸の降伏を要求して居るやに見ゆるこれでは獨逸如何に窮せりとも直ちに應諾しさうにない果して然らば戰局は尚ほ繼續すべきかと云ふに予は獨逸對聯合國間の正式休戰條約の成立は容易ならざるべしと思ふも然も獨逸の存外早く講和を招徠するに至らぬか〇〇は獨逸の內亂勃發に相當の方法を執つてゐるやに見ゆる彼の獨逸社會黨の行動やバヴリア王國の動搖は之れを事實の上に語つてゐるのではないか由來バヴリアとプロシアとは兩立せぬ程仲がよくないではないかその手が一層酷くまはそこに〇〇の手が廻つてゐるのである事となれば獨逸の內亂動搖一層酷くなり遂に收拾し難きに至り結局敵國の屈辱的

▲休戰條約の 承認となり事實上の降伏を餘儀なくされはせぬか而して平和來の順序とならう金融業者として此の平和來を豫りに恐怖するものは予等のとらぬ所だが然も一大變革期に臨むには十分の準備と節制を以てせねばならぬ事と思ふ

◎土地調查費剩餘
約八十萬圓ならん

朝鮮土地調查費は未だ決算とならないので幾干の剩餘あるを示すかは明年に至らざれば判明せざるも多分總豫算額二千四十萬圓中約八十萬圓內外の剩餘を來すべしと

◎地價依然上伸

米價引續き硬調を示し居れるため地方に於ける地價の昂騰は依然として引續き南鮮方面の上田は反當り二百圓以上を唱ふるは珍らしからず殊に買手はあれど賣手なしの狀態にて手合せも多からず結局尚ほ上伸びの勢ひにありと

◎東拓移民承認

本年東拓にて募集したる移民は一千五百餘戶を以て締切りたるがその承認審查は本店に於て着々之れが進み既に第一種自作移民三百三十六戶、第二種地主移民廿六戶の通知を出し尚ほ土地選定等に付照會中のものも少からざるに付それらの回答到着次第承認數は漸增を來すべし第二種の地主移民は六十戶の募集に對し三百四十五戶乃ち約六倍弱の應募あり從つて會社にては承認の標準を引上げし由なるが然も南鮮方面の良候補地に對しては一地に百戶內外の申込みあるもありそれらの多數申込者は該地ならでは移住せずと稱するもの他の適地にても渡鮮せんと云ふ者もあるが結局承認をなして其移住を見るは三四十戶に留まるべきかと

◎京畿戶稅增加

京畿道管內に於る大正七年四月一日現在戶稅狀況を聞くに次の如し本期賦課戶數二十四萬八千百六十七にして此の稅額五萬七千二百二十五圓五十錢を算し前期賦課稅額は三萬七千百九圓八十五錢を示せり即ち對前期稅額の增減を見るに本期賦課に於て百十五四二十錢の增加を示せり而して疫發其他に因る免除戶數三千七百五十六戶を算し官內課稅總戶數に就いて見れば千戶當り免除戶數十五一戶の割合となり居れり

◎副總裁張宴

嘉納鮮銀副總裁は來る十二日京城の主なる新聞雜誌記者を花月に招待張宴する由なり

◎咸南の製筵講習

咸南甲山地方は繩叺類非常に高價なるのみならず之れを得るにも頗る困難を感じ居れるが幸ひに開否をなすもの多く既に本年は二千八百石の產米を見るに至りたるを以て郡當局は繩叺の製造を奬勵すべく準備中にて製筵器三臺の購入方を道に依託し來たりし由郡に於ては製筵の講習をなし一般に之が製造を奬勵すべしと(元山)

人事消息

▲中村京城覆審法院檢事長 十日午前八時四十分列車にて永登浦へ
▲指宿資海道、師 十日朝京城
▲吉武榮之進氏(文部省督學官) 十日朝釜山より來京
▲堀柳三郎氏(兼二浦三菱製鐵會社長) 同上(釜山特電)
▲三好清太郎氏(元本社記者) 大連に移住することゝなりたる氏は愈々十一日午前九時五分南大門驛發仁川より海路同地に赴く由

酒前茶後

◎主觀にも、客觀にも、講和の素地は既に成れり。而して背景は、敵自ら共盟邦と共に、製作しつゝあり。輪廓は聯合側亦米國大統領の提唱に應じて、講和の基礎を說き、フォッシュ元帥をして、休戰條件を指示する迄に運べり。或は大形勢の、急轉直下を見んか。●獨逸は最早事實に於て、昔日の觀無しと見るを當然の解釋とすべし。獨逸に關する報道を、過大なりとするも、社會黨の勢力旺盛となり、シャイデマンが公然獨帝の退位を要求し、議會亦之を決議せんとし。減巴王國の獨立計畫は、遂に獨逸聯邦分裂の兆を示さゝるに非ず。亡び行く強國の末路には尚ほ多大の紆餘曲折存せざるべからず。而して這は後世の史家をして、喜ばしむるに足らんも、悲慘なるは其國民也。●西伯利政府に於ける、大小の紛爭間斷なし。畢竟之を支持するの中心安定せざるが爲也。這回ウオロゴドスキーを首相とせる、新政府現はれたるも、聯合國の協調協定、能く之を支持し得べきや否や。五頭政の權力掌握は、太閤歿後の五奉行に似たる、大阪落城の如き末路を見ざれば仕合せ也。●成金風の流行は、日本のみならず、米國にても猛烈なるが如し。九月十三日より、十月八日迄の、各地軍隊內の患者計りにても、十六萬七千人、中死者四千九百十八に達し、勇將ドウィン少將も亦、同病の犧牲となり。更に廢神の猛勢を示さんとするより、先月來新徵兵の、召集を延期し、動員上に非常の故障を來せりと。一振能く獨塊をして、肝膽を寒からしめたる、ウイルソン君の鐵拳も、病魔には、百振遂に其効を奏せざるもの如し。恐ろしき哉。

本紙定價 廣告料金 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

大正七年七月一日改正現行

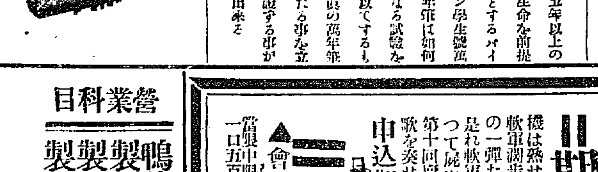
廣告

悪性感冒 ▽益々猖獗

當地の惡性感冒は益々蔓延して何處の家に行つても二人三人の罹病者を見ざるなく甚しきは一家枕を並べて臥床なすもあり、而も病性險惡にして甚しく喉頭を害し心臟痲痺或は肺炎を起して死亡する者間々あり危險言はん方なし今次の惡性流行感冒には少しく其の氣味を感じたる位の時之れを用意して直ちに服用せば一包にて見事に其の罹災を免れ得べく既に罹りたるものと雖も種々の藥品を用ふるよりも迷ひけなくカギヤビリンを服藥するを最も良とすカギヤビリンが最も的應にして少しく其の氣味を感じたる位の時之れ カギヤビリンは藥品貿易商荒川長太郎合名會社の發賣藥にして何れの藥店にも販賣せり但し類似の藥品と買誤らざる樣注意を要す

新着 腕時計
銀側十四形パリス形々パン會社製 金貳拾七圓
銀側十三形瑞西アンクル 金貳拾參圓
同 十形 金貳拾壹圓
銀側九形變形瑞西アシクル 金貳拾壹圓
五拾錢
ニッケル側十三形瑞西アンクル 金貳拾壹圓
▲送料鮮內拾貳錢鮮外參拾錢 右僅少着荷仕候間至急御用命願候

パイソン(學生號)萬年筆 (五年以上保證附)
金貳圓八拾錢
送料 鮮內無料 鮮外三十錢



五年以上の生命を前提とするパイソン學生號萬年筆は如何なる試驗を以てするも眞の萬年筆たる事を立證する事が出來る

京城太平通電話構內十八番
發賣元 京城日報代理部
振替京城三〇〇番

結核專門
古賀病院
九州線鳥栖驛

月收 五拾圓以上 貳百圓內外
朝鮮代理店支配人招聘
日用必需品の廉價供給機關として各方面より多大なる好評を以て迎へられつゝある本組合は今回朝鮮各地に本組合が供給しつゝある市價の半値內外の優良日用雜貨供給特約專賣店の設置活動上資產壹千圓以上を有する希望の方は資產關係現在の職業及收入履歷等詳記返信料封入申込の方に詳報す
東京本鄉湯島六丁目十五番地振替三八〇四九番電話下谷六九一九番
株式會社東京日用雜貨製造組合秘書部

朝鮮學術研究會編 發行所 京城本町 振替二三三 ウツボヤ書店
朝鮮 中學 商業學校 高等女學校 高等普通學校
入學試驗問題集 答案
本月中旬發行 四六版二百餘頁 ▲定價金五十錢送料四錢
學生諸君……御待兼の入學試驗問題……賣切れぬ內に…買ふて入學の榮を得られん事を
發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次販賣所 大阪屋▲岩松堂▼日韓書房

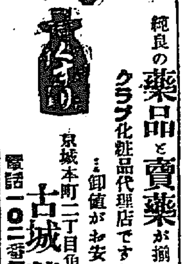
ストーブ新荷著
和洋ストーブ
附屬品一式
煙突製作
板硝子
ペイント塗料
京城本町二丁目
岩見商店
電話貳一參番

平壤驛前(紀念碑橫)
平壤製粉所
長電話八四〇番
製造品目 小麥粉 蕎麥粉 菓子種粉
品質改良 價格低廉 販賣 地方特約販賣御希望ノ御方ハ此際御申込被下度候

二期米界の裝甲車
機は熟せり、硬軍の跋扈は既に度生が夢と過ぎ…今や軟軍潤步の時代と化す。顧みれば旱食、鐵不足は硬軍最後の一彈たりし也。諸物價平調、正米軟弱、新穀出盛は正に是れ軟軍の裝甲車に比すべし…強襲突進敵を一擧に屠つて屍山血河を現出す、亦一大快事とせずや…於茲乎第十回賣同氣會を組織し依例分配の記錄を飾りて共に凱歌を奏せん…戰士退かに來りて吾裝甲車に同乘せよ。
第十一回 二期米賣同氣會
日本信託證券部
申込期間十一月廿日迄 加入金一口三十圓
▲會則贈呈 ▲大阪市北區堂島濱通一丁目廿二番地 電話北九七二、一九〇四 振大四〇五六九
當限中限の商玉にして渡米の調達を必要とせらるゝ向は一口五百石以上に限り容易なる條件の下に御協定可仕候

營業科目
鴨綠江材並日本材原木賣買
製材(機械挽)
製函
製板鉋賃掛
宮下木材株式會社
安東縣六道溝西湖通三番地

商號 宮下洋行
守東縣出張所
電話一一三番 一八三番 電略(ミヤ)



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
御値がお安いです
京城本町二丁目角
古城贊化堂
電話一〇二番振替七三七番

◎獨軍港暴動

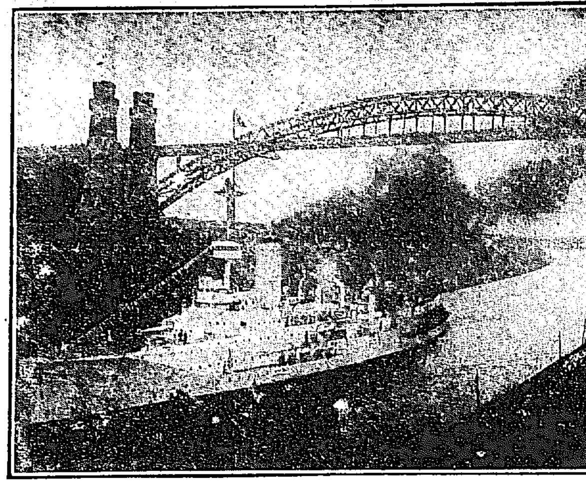
キール軍港に赤旗を揭ぐ

◇防壓の爲派遣せられたる軍隊も暴動に加はる◇

維也納に勞兵會組織の檄文

飛びブダペスト亦た混亂す

某所著新聞に報に據ればキールに於ける獨逸軍艦の水兵は將校を毆打して四五名の死傷者を出し軍艦旗を引下して赤旗を揭ぐ右防壓の爲め派遣されし步兵は却て暴動に加はりたり



□キール運河＝大混雜の軍港はこの運河の北部にあり

他に騎兵の派遣ありたるも水兵の有する機關銃の爲め退却せり兵士會は將校に對し彼等は現地位に留り同會の命令に服す可き旨決議せり尚兵士會は機關銃を同地の要所に据付け食糧品の供給をも支配しつゝあり

又維也納にても赤衛軍屢々會合を催ふし革命的運動を行ふあり勞兵會の組織を唱道する檄文を散布する者あり又ブダペストにては勞働者兵士等と各會議を作りて國民大會と共に政治に容喙し居れり（東京特電）

▽「重大なる暴動勃發せり」

紐育來電＝獨逸新聞紙の報道に依れば十一月三日キール軍港に於て重大なる暴動勃發せり其原因は海員其他の者が犯罪に依りて捕縛せられたるを水兵等が解放せんと企てたる者なりと（東京特電）

▽暴動漢堡に波及す

紐育來電＝キール軍港に於ける第三艦隊と船渠職工との暴動は五日遂に漢堡にも波及し職工等は其要求を確保する爲め具體案を作成せり（東京特電）

◎御名代宮 英艦隊御訪問

東伏見宮殿下はコンノート殿下の案内にて英國艦隊の訪問を終り給へり殿下は英國艦隊司令官ビーチー提督米國艦隊司令官ロドマン提督の歡迎を受けさせられ深く英國海軍力の偉大なるを感じ給へり（倫敦電報）

◎土方伯＝葬儀

會葬四千名

故土方久元伯の葬儀は九日小石川の邸に擧行さる棺前には兩陛下東宮殿下を初め各宮殿下よりの御榊を左右に並列す各宮殿下よりは御代拜を賜ひたるが會葬者は朝野の縉紳名士無慮四千名に達せり（東京特電）

◎贈位八十名に達せん

大演習に際して

來る十八日發表されん

中に目覺しきは三浦權太夫

今回栃木縣を中心として擧行さるべき特別大演習は其區域頗る廣大なるより慣例に依つて贈位さるべき人々の數も從つて多く最初各地方官廳其他より提出せる者

◇三百餘名 に及びたるが内閣に於て銓衡の上八十名内外に減じ宮内省宗秩寮に廻付し審議の上御裁可を仰ぎ來る十八日發表さるべし因に中にも舊二本松の志士三浦權大夫義彰は最も

◇著名の士 にして曾て藩主が屢出遊するは國事を妨ぐるものなりとて再羽公に切諫し之を止めしめ又老臣に減祿を勸めし爲獄に投ぜられたる事あり奧羽列藩同盟して王師に抗したる際痛憤して自ら責を引き白河口に

◇王師邀擊 の藩命下りたる時唯一死あるのみとて諫疏を

去りて出陣し大聲名乘を上げ空中に一箭を放ちたるが王師之を見て凡士に非ざるを知り發砲を止めしめたるも今傳はらざる中に二丸腹部を貫き乃ち

◇屠腹して 死せり王師之を悼み厚く葬ひ又安達ヶ原に戰死の碑を建て後山縣公、芳川伯も態々弔訪して詩歌を獻じ其忠死を悼みたりと云ふ

◎皇室典範增補の完了は本月中

廿八日に御奉告祭

◇宮内省告示で發表

李王世子垠殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀に關する皇室典範增補制定に就き十一月廿五日神宮、神武天皇、明治天皇山陵に勅使御差遣の儀二十八日賢所、皇靈殿に奉告の儀、神宮、神武天皇、明治天皇山陵に奉幣の儀を行はせらる、旨九日宮内省より告示ありたり（東京特電）

◇御婚儀は本年か

典範增補公布期迫る

右につき李王職某高等官は語つて曰く、皇室典範增補の手續が本月中に完了するものとすれば自然公布の

▼時期も近 いた譯である何故なればこの御奉告祭を了せられると直ちに御允裁を仰ぎ宮内大臣、各國務大臣副署の上公布せらる、順序だからである、公布と同時に勅許が下るか何うかは陛下として濫りに推測を許さぬことではあるが皇室典範の

▼增補を急 がせられた事と云ひ更に本月中に是を公布さるると云ふ點から考へて御婚儀の時期は或は意外にも餘程切迫して居るのではあるまいか世間では是から先は氣候が好くないから何れ來春だらうなど取沙汰して居るやうであるが是からは下々の所謂

▼結婚月に 入るのであるから時候が惡いと云ふ理由丈で御擧行にならぬとは限るまいと云々

◇御結納

近々御取交しか

因みに李王職次官は御婚儀に伴なふ準備その他の要務を帶び過般來東上滯在中なるが仄聞する處によれば近々御結納の御取交しを濟まして後歸任すべしと

◎素晴らしい爲替貯金＝の增加

◇景氣は惡くない

京城局取扱の爲替貯金十月分の受拂高は受口數一萬八百廿四の四百廿三萬五千五百五十二圓拂口數二萬廿一の四百十八萬七千三百六十七圓の多額に達して居るが之を前月の九月分に比較して見ると金高に於て

◆◆受入が 八十九萬五千五十圓拂出が八十一萬五百圓を共に增加して居る更に之れを前年十月分に比較して見ると受入が二百二十六萬五百六十四圓拂出が百二十萬七千二百十九圓と云ふ驚くべき激增を示して居る之れを見ても如何に世の好景氣かは一目瞭然であるが而も之れは京城局管内のみで朝鮮全道に亘つては實に莫大な

◆◆激增を 示してゐるは勿論である殊に近頃各地より當地の行會社へ振替へる者が多く受拂共に約六十萬圓を示してゐる上に手形交換拂が十三萬圓にも上つてゐる兎に角斯く未曾有の增加を現出したる原因は爲替資金の運轉が好景氣につれて頻繁に行はるるに至つた結果であると

◎八百貫の大鱶

◆迎日灣にて漁獲す

迎日灣内にて一漁夫が流し網にて大鱶を漁獲したり、該鱶は俗に『ウワ鱶』と稱するものにして長さ六間胴周り二十尺體量八百貫に除る尤物なりし由目下浦項水族館裏手の濱に引上げあるが見物人多しと

◎贋書事件公判

取調一年有半を要した難件

書工松井は懲役六ケ月を相當とす

◇他人の印章筆法を以て他人を欺くは罪惡なり

昨年五月贋書偽造行使犯人として本町警察署の手に檢擧され當時偽造書畫事件として世人の耳目を聳動せしめたる被告松井吉松、手島藤治、田村宇吉、松隈四郎、加來太藏、長谷部七郎の六名は未決監に在る事一年有半にして漸く京城地方法院に於て公判開廷を見るに至れり該事件は被告六名が釜山、仁川、京城等に於て大仕掛に

◇偽書畫を賣り附けたるものにして狄田總務局長の如きは彼等の甘言に乘せられ偽書畫五十五幅を五千圓を以て買取り其他多數の名士巨商等も彼等の勸めに應じて偽書畫を買取り被告一味の手に落ちたる不正の金は約一萬圓の巨額に達せり。被告中松井吉松は曾て書工を職とし故人及び現存大家の書風を模倣するに堪能なれば首付けたる書畫は大抵同人の揮毫又は修正になりたるものなるが、之れが行使の任に當り且つ行使者の主謀者と見るべきは手島藤治にして筆者松井も同人の傀儡たるの觀あり。該事件は犯人檢擧以來公判開廷迄

一年有半の長時日を要せし難件

にて押收書類約三百枚、印章三百個、一件記錄實に三千五百枚に達し關係辯護士數人が錄謄寫に廿五日間を費せりと云ふ。本件は九月豫審終結し同十二日公判廷の運びに至り先月十八日第一回公判開廷以來審問を重ぬる三回、昨九日午後一時より第四回最後の公判は開かれたり。開廷時刻至るや被告六名は看守に伴なはれて何れも蒼白の顏を大法廷被告席に並べたり。中にも筆者松井吉松は

◇旣々たる白髯を貯へ

◇風手卑しからざる老軀を被告席に落付けて絕えず俛首を續け居たり。斯くて金川裁判長境檢事、高橋、木尾、朝倉の三辯護士列席を待つて裁判長は開廷を宣し被告手島に對し辯護士より申請ありたる證據書類を示して裁判長よりの簡單なる訊問あり直ちに境檢事の論告に入る。境檢事は立つて約一時間餘に亘る嚴正なる論告を試み、被告松井手島の兩名は以前九州福岡に在住して偽書畫流行の本場の空氣を吸ひ

偽書畫の偽造行使は法律上の罪惡とならずと云ふ見解に

培はれ、當時同地に於ても取調を受けたるが警察署の寬大なる處置に狃て偽書畫偽造行使を常習とこ爲すに至りたるを論じ松井が偽書を作製せし或は其惡意は疑かりしと認めざるには非ざれども他人の印章、署名、筆法を以て買手を欺くは罪惡なりと云ふ認識せる上の行爲なれば勿論法律上には有罪なりと同情ある論告を試み、手島の犯罪行爲に就ては一々引例して被告の不德行爲を詰責し田村、松隈、加來、長谷部に對しても一々嚴正なる

論告を終へて刑の量定に入り

被告手島藤治懲役三年（未決拘留九十日通算）被告松井吉松懲役六月（未決拘留八十日通算）被告田村宇吉懲役一年（未決拘留八十日通算）被告松隈四郎懲役一年（未決拘留八十日通算）被告加來太藏懲役六月（未決拘留八十日通算）被告長谷部長七郎懲役八月（未決拘留百八十日通算）を求刑せり。次いで被告松井、加來兩人の爲めに高橋辯護士の辯論あり殊に松井に對しては當人の性格正直なるを說き悲慘なる家庭の現狀を述べ熱辯を揮つて無罪を主張し若し有罪とならば執行猶豫の寬典を以てせられんことを訴へ、此際被告は淚を以て顏を蔽ひて嗚咽せり。加來に對しても同樣の同情ある求刑を感謝して後此上同人を無罪の判決ありたしと陳べたり。次いで木尾、朝倉兩辯護士立つて手島と加來の爲に辯論大いに努め無罪の判決ありたしと陳べ尚有罪とならば執行猶豫の寬典に浴せしめられたしと論じ午後五時閉廷せり。判決言渡しは近日

◎大當りの小僧さん

『さん』までつけても……

◇却々來ない

昨今の朝鮮は勞働者の拂底で到る所猛烈な爭奪戰を演じて居ること既報の通りであるが近來は又小僧や女中が大拂底である尤もこの傾向は今に始まつた事ではないが近來夫が一層甚だしくなつた殊に

◇小僧の拂底は驚くばかりで是には各商店は何れも言ひ合はしたやうに『小僧入用』と店頭に貼出したり、廣告したり中には『小僧さん入用』と『さん』まで附けて募集して居る者もあるが却々利き目がない、是が以前ならば選擇に困る程應募者が來たものだが昨今は選擇するどころか人ッ兒一人來ないと云ふ始末、偶來ればそれは白痴に近いものか不具者と云ふ譯で店主は悉く手を燒いて居る

◇拂底の原因は矢張り世間の景氣が好くて他にいくらでも子供の需要があるからだと云ふ事であるが何しろ是は店主に取つては非常な打擊と言はねばならぬこの上現在使つて居る小僧にまで『お暇を……』と出られてはそれこそ泣面に蜂の憂目を見ねばならぬと云ふので目先の見えた店主は

◇俄に小僧の待遇を好くして足止め策として居る相な、京城で一番多く小僧を使つて居るのは本町の三越であるが昨今は右のやうな始末であるから少數の補缺にも困つて居る三越では平素『小僧は將來その店の中堅として活動するものである』と云ふことを標語として店員の待遇は却々好い方であるがそれでも斯る有樣である如何に小僧が拂底して居るかは是でも判る

◎除隊の日に

『奉公嚢』を呉れる

在鄕軍人等が一朝事あるの際軍隊手帳其他の必需品を直ちに取出し得べきに便じ又平素奉公の念を忘れしめざる爲め今回陸軍省にて奉

◇軍隊手帳其他の容器

◇官給 の事に決定し本年末除隊となる可き近衛兵八千名に對し最初の試みとして現役中支給さるる所の手當中より總額三十錢を每月幾分宛積立て右の嚢を作り除隊となる當日下附さる、事とし尚漸次他師團にも及ぼす事となる可く設

◇嚢は カーキー色の木綿地にて表面に黑色を以て山形に二筋を引き下に奉公の二字と官等氏名を表し裏面には軍人に給はりたる五箇條の勅諭を奉記せる幅七寸位長さ一尺二三寸のものなりと

昨今河所の水道端にて見も識れぬ住居同志が大層に話して持切つて居るおさなりの年寄りの奥さんがしきりさ一斗樽に菜ばを活てゝ入れて居るへ此所にお向ふの若い奥さんがお嬢さん伴にて御出張に及ぶ、そこで水道ばた菜ば、惡性感冒の話しに花が咲く

若奥「三日人樣お惡いの御座いますがお年寄奥「いゝお蔭げ樣で此の頃少し良い方なんですがね、あなた私の所では宅の病人は如何で御座いますか」お此の年なしてまた二人切りの上に主人があの通りの惡性感冒で休んで居りまいので何から何まで私一人で困りますワッヘゝゝ只の上れ―あなた此年の菜ばのお高いこと、たらまんと驚きます、それこそ家の病人の熱よりもよつぽど高う御座いますよホッホゝゝ

若奥「アラマーさうで御座いますかそれは誠に御困りで御座いましようねい、でもあなた私の所では皆ひ私も主人も大きらひなものですから今年は大喜いんですわホゝゝ」チヨコマン

曰くあゝ母ちやんわ、菜ばは好きよ

◎淋しい凱旋

敵地に足を入れた

健氣しく淋しく歸る人々

龍山驛通過南下

九日第三師團下の輜重兵百四十三名が空しく鳴る腕をおさへて龍山驛を通過して歸還したのが初めにして十四日午前も同じく輜重兵百人その他馬匹が途還せられた、

◇敵地 に足を踏み入れながら空しく還る、これ等の兵士を迎へんと京城軍人後援會幹部、愛國婦人會の大橋主事外數名の夫人達は寒風に吹かれて列車の來るのをプラットホームに待つた、意天をつく勢ひで出征した人達のかうした淋しい

◇凱旋 を見るにつけても氣の毒な感じがする尚十日午後十時にも通過し來る十五、十六の兩日も通過歸還する筈である、

◎藝術座はどうなる!!!

＝脚本部が經營する＝

島村抱月氏死後の藝術座は如何になるかとは氏突然の死と共に起る問題であるが同座には楠山正雄、[illegible]、長田秀雄氏等より成る脚本部があり夫が今迄主となつて藝術座の指導の下に脚本の選定等に務め藝術座の事業をして依然繼續せしむる筈で七日夜藝術倶樂部樓上にて關係者の協議會を開き

一、抱月氏の遺志を繼續して松井須磨子を座主とす

二、抱月氏の事業を繼續する爲めに中村吉藏を脚本部主任とす

三、脚本部は藝術座の藝術並に實際の兩方面を合せて一切の事務を執る事

以上の決議をなし中村氏から更にこれを同座の俳優並に關係者全部に發表する事となつた（東京特電）

◎丸髷會の總見 京城料理屋組合丸髷會にては十一日壽座開演中の一座の總見を催す由

□給仕入用 希望者は本人直接來談あれ但し市内に確實なる保證人を要す　京城日報社編輯局

◎製鐵開始期 ……五十坪の石灰運び場百坪の鑛石運び場其他は事務所及び社宅なり

◎日支錢鈔前提 ……

天

演藝案內

◎文樂座 本町五丁目 電話二三八 赤派魁俱樂部山地一行 ▲活動 白晝の慘劇 全九場

◎壽館 本町二丁目 電話一〇五〇 十一月十日午後六時開會 ▲山村連

◎大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社代理店 ◎探偵活劇『黑白合』 ◎舊劇『隅田川大仇討』 ◎新派悲劇『二人娘』全三卷

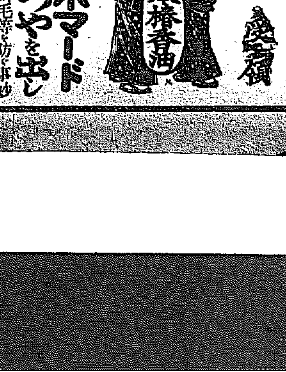
◎黃金館 ◎舊劇『女達ヶ原三段目』 ◎活劇『第二大秘密』

◎壽座 本町二丁目 電話七八 大阪歌舞伎大一座 新派大悲劇『豪華の裡』

◎浪花館 明治町二丁目 電話二六〇 大阪一流女義太夫竹本長廣大一座

◎有樂館 ◎『灰色の幽靈』 ◎人情活劇『モンタナの人』

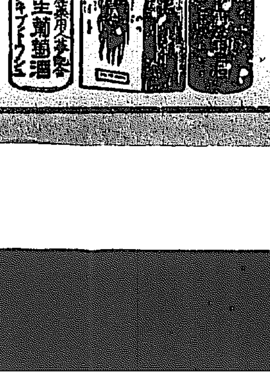
李王職御用 模範牛乳 ニウソ 石鹼洗粉
太正綠肥料驛前 場主
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五二番



登錄商標 金牌 男女頭髮用椿ホマード 毛を黑く長くつやを出し 赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙 本舖 大阪西横堀 三宅堂

釜山著名商店案內

雜貨問屋



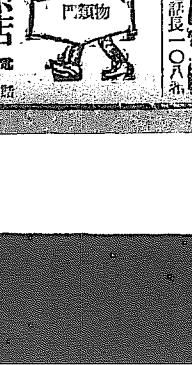
清酒・罐詰 糖粉・官煙 發行 釜山 あづまや商店 電話三五九番 振替京城三九番

スマート

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 山西商店 電話七四 振替京城二〇〇番

長岡商店

酒精、燒酎 西貢米 碎米 大豆 砂糖 麥粉 食料品雜貨 釜山埋立新町 電話長一〇八番



釜山 島田糸店 電話五七八番

[illegible]あつ…あり同製鐵所[illegible]建築は五[illegible]の完成は[illegible]百十四坪にして其內九十六坪の建[illegible]至らざれば竣工し難く[illegible]製鐵に[illegible]坪一基四十八坪の小建物一[illegible]着手すべきは早くも本年末に至る

[illegible]方面に[illegible]取引所を設立せんと企圖し都督府或は滿鐵に對し[illegible]ほゞ之が設立認可を申請したりしき[illegible]以て[illegible]に對して試行せしめ其成績を實地に研究し若し好成績を收め得べき見込立[illegible]理する爲め滿鐵にては今回臨時[illegible]送係を置く事となり左の通り任命[illegible]

◎露國紙幣の飢饉
西伯利と朝鮮銀行券及び軍票

チタ市に於ては過激派政府時代金融機關を悉く破壞し銀行より紙幣を奪し且不換紙幣を發行して恰も木の葉の如く市場に流布せしめたる爲一時は各種の紙幣洪水の如く溢れたるが元來消費地なる京城の如く俸給生活者に依りて榮ねたる同市に革命亂後俸給の支出全く杜絶したる關係とルーブルの下落と相俟つて紙幣の流出甚しく最近に至りてはルーブルの價値非常の狀態に陷り市場は之が爲に不便を感ずるに至れり就中邦商にして麥粉砂糖其他の物資を大口に輸入し來るものは紙幣缺乏の爲取引圓滑ならず大なる苦痛を嘗めざる可らざるに至れり之が救濟策としては前述の如く同市が消費地にして生產地に非ざる爲何等手段の施すべきものなきも只最近露西亞人にして

日本人に利權及び不動產等を讓渡さ

んとするもの多く現はれ來れるを以て此際日本人の發奮を促し日露人間の取引を盛んにし其取引には總て日本の銀行券乃至軍票を以てせば一方流通紙幣缺乏を補ひ一方日本の經濟的努力を扶植する上に於て上乘の策たる可く軍當局及び實業家中には斯る機運の到來を期待し居れり殊に

軍票及朝鮮銀行券

の流通に就き第三師團司令部はチタ市中に公告したる事は報じたるが最近に至りや、疑懼の念を去りたるものの如く露西亞人にして朝鮮銀行券及び軍票を使用する者なきに非ず唯使用に當つて一般に周知し居られざる結果取引を拒むもの多きを以て其の煩雜を厭ひ居るが如きも我師團司令部所在の大建築を所有し露國有數の資產家たるフォロワの支配人の如きは

家賃を日本紙幣

にて受け取る事を自ら希望したるのみならず市內有力實業家に對して日本の硬貨は世界に於て最も信用ある事日本の紙幣は露國紙幣の如く價値の動搖なく毫も不安なき事を說明し切りに日本紙幣を以て取引すべき旨を勸告しつゝあれば多少の反對はあらんも

日を逐うて良好

なる現象を見るに至る可く我實業家及び鮮銀等の活動の奈何に依つては前記の如く不動產及び利權に對する買收には日本の銀行券を以てするを得るを期待せられざるに非ず（飛線にて早川生）

◎滿洲と出穀

本年滿洲の農產は各穀物を通じて約八分作位の豫想である大豆は滿育ち結實も至極良好であり只一部水害地方を除いては甚だ豐作であるが水に浸つた土地は高粱包米と違つて收穫皆無であるから全滿を通じて約七分强作だらうと云ふ高粱は八分作粟は六分作包米は八分作等であつて小麥は其成熟期に雨量が過多であつた爲め其收穫を減じ約三分作見當であると云ふ今奉天附近に於る鐵入後の一天地より收穫する豫想と前二箇年の實收高を比較すれば左の如し

年度	大豆數	高粱	粟	包米	小麥
五年	五、五	八、〇	五、五	六、〇	四、〇
六年	四、五	五、〇	四、五	六、〇	二、〇
七年	五、〇	五、〇	四、五	六、〇	一、〇

產物の出廻りは相場の高低や市場の變動等に依り異動ある事故之を豫想する事は出來ないが本年度の農作物より推定すれば本期に於て重なる穀物の奉天市場に出廻るべき數量は大豆十萬石高粱十五萬石粟三十萬石包米六萬石小麥八千石なるべく合計約六七十萬石內外なるべしと豫想さる（奉天）

金融

平壤

平壤市內に於ける十月末現在各銀行支店出張所の帳況左の如し

行名	預金	貸出
鮮銀	二、三二三、五六四	六〇一、二〇七
殖產	一、一八四、四七〇	五九〇、四五九
百卅	六六八、二〇八	五三三、一九八
漢城	九二一、〇二四	六〇七、四二〇
東拓	[illegible]	三五三、七一九

奉天

行名	預金	貸出
正金	一、八四〇、七六二	二、四八一、一六六
正隆	六六八、四九八	二四〇、二五四
南滿	五三二、九〇一	六五九、二五六
安東	五九四、七一七	一、三三六、七七九
東拓	九五、〇〇〇	四、二七七、八二〇
鮮銀	五、六四九、二〇一	七、六四八、七七七

◎大連保險問題

久しく解決を見ざりし大連埠頭野積貨物火災保險復舊問題は近來漸く怪火の原因が放火と判明し且つ有力なる犯人既に逮捕せられたるを以て保險團に於ても保險契約復舊の意あるを以て大連重要物產組合商業會議所油房聯合會特產商組合等保險交渉委員會は協議の結果從前の交渉を重ねたる九割說を以て保險團に最後の交渉を試みるべく各保險代理店なる三井物產の山室氏及び滿鐵會社より一名の社員の同伴を得て委員會より交渉委員一名を上京せしむる事となりたるが該委員は篠崎商業會議所副會長に內定せる由なり（大連）

◎軍事裁判回答

侵入敵國人並に敵國機關として協商國側より支那に對し哈爾賓方面に軍事裁判所を設立すべく交渉中なりしが右設置は敵國人或は敵國關係を處分するに就き最も必要なる施設なれば支那は要路協議の結果之れを承認したる旨英國公使に回答し來れりと（奉天）

◎電燈復活近し
新舊安州と電氣

京義線新安州に於ては豫て大倉組經營の下に雲山金礦に對する動力供給の爲め發電所を設けられ之が餘電を新舊安州點燈用として供給され延いて同地製鐵所其他と電力供給を爲しつゝありて一般此が恩惠に浴しつゝあること甚大なりしにも拘らず屢報の如く這般同組と雲山金礦會社相互間に電力問題に就ての調定を見ず遂に大倉組は該發電所の營業を中止することゝなり既に兩安州に對する電燈は去る十月卅一日限り之を廢し本月一日よりは石油燈を用ふるの已むなき事情に遭遇し昔日の如く兩安州は暗黑界と化し市民の不便其極に達するに至れり、然れども我社の仄聞する處に據れば該發電機は今回東洋拓殖の購入するところとなり此等に關し十一月初旬同社重役の來安を以て大倉組側に於ても鶴谷工學博士の來安あり三日及び五日兩日に亘り之等關係者の張宴を料亭日の出に於て開催し兩者間に於て兩安州を暗黑とするは情に於て偲びずとなし茲に小發電機を年內に据付遲くも一月頃より一般從前の如く點燈事業を開始すべく一面晝間動力の供給をも行ふの計畫なるが未だ具體的發表を見るに至らずと雖も何れにしても架線も其儘なれば東洋拓殖に於て經營するとも亦大倉組の直營となるべきにせよ此處二三月にして復舊を見るは期して疑はざるところなりと

◎平元線急設請願書
（二）
三地聯合期成會決議文

惟ふに戰後帝國の經濟的施設中最も重要なるは日本海の利用並に平元鐵道の活用にして以て滿蒙利源の開發と我が商權の扶殖を圖らざる可からず左に內鮮兩の交通經路比較を示す（表中『陸』とあるは鐵道哩數『海』とあるは海路浬數を示せるものなり）

（長春より）

經路	陸	海	計
大連…大阪	四三六	八七七	一三一三
浦鹽、敦賀、大阪	七三三	四九九	一二三二
淸津、敦賀、大阪	五五九	四四四	一〇〇三
淸津、舞鶴、大阪	五四四	四五五	九九九
平壤元山敦賀大阪	七五五	四七七	一二三二
平壤元山舞鶴大阪	七八四	四五二	一二三六
釜山、下關、大阪	[illegible]	三三四	一四一七

右の內淸津經由線は吉會線の布設並に敦賀淸津間の直行航路に依り距離を算定し平壤元山經由線は平元鐵道を百四十哩と假定せるものなるが更に奉天を起點として兩線の距離比較を示せば左の如し

大阪敦賀淸津長春奉天間　一二一九哩
大阪敦賀元山平壤奉天間　一、〇[illegible]哩

之に依て之を觀るに平元線は滿洲地方に對しては吉會線に比し大に優越を示し奉天より更に八十餘哩を北進せる昌圖附近に於て兩線距離上の分水嶺を劃するものにして以て平元線の對滿蒙勢圈の如何に大なるものあるかを知らん、而も其の布設は現に開通せる平壤鎭南浦線を延長し元山方面の咸鏡南部線に接續するとせば僅々百餘哩を以て足るに反し吉會線は延長二百八十哩の難工事を控へ之を活用するには數十萬圓を投じて淸津築港の完成を圖らざる可からざるを以て之を天然の良港として目下更に築港工事中なる元山港の利用と對比せば工事の難易固より比すべき限りにあらず、況んや其の使命に於ては夫々其の趣きを異にし決して競爭線にあらざるに於てをや以上之を見るに帝國の對滿貿易は頗る急速なる膨脹進展を遂げつゝあり今後益々此の趨勢を助長すべく假に大正六年中の同貿易總量五十萬噸が七年以降二割づゝの增加を示すとせば五年後に於ては無慮三百八十一萬噸の巨額に達す即ち滿鮮の產物の產額增大に依る輸移出力の增加並に鮮滿蒙の開發文化の向上經濟力の增進等に依る輸移出入力の增加等を觀測する時は其の增加率は遙く右の豫想を超ゆ可く此の內平元鐵道及び日本海橫斷航路を利用すべきもの約三割と見込むも實に百二十七萬噸の巨額に達するを思はゞ將來此の方面の輸送經路の如何に多事なるかを知るべし殊に內地對滿蒙貿易の關鍵を握れる阪神並に之に亞ぐ名古屋方面、北陸各地東京方面北海道等の取引が輸送經路の短縮に依る各般の利益を收むるに至るは暗易き道理なるを以て其の商取引は益々敏速圓滑を來し商勢圈の擴張と相俟ち平元線の經濟的價値は多々益々發揮せらるべく之に伴うて元山港の擴張と橫斷航路船の充實と船腹の增大を誘致し一方鎭南浦港と目下計畫中なる大連、芝罘、靑島航路は勿論遠く南滿方面に至る港灣的聯絡を伸張し日本海と黃海を聯絡する羽翼の目的を實現し以て是等と相俟つて益々本線の活躍に資し常に移大なる物資のみならず盛んに旅客を吸收し得べく之に依つて考ふるも如何に平元線の重要なる交通路たるかを知るに足ると共に國防第一線を扼し殊に近時朝鮮兵器製造所の設置に伴ひ平壤方面に於ける軍事上の地歩は愈々優越を加へ咸鏡線を通じて北方咸興羅南等方面との連鎖愈々緊切を要し且つ海峽を踰ねて同工廠を設置したる目的並に兵器の獨立及び自給の將來に鑑み極東の形勢に一朝有事の際前進兵器工廠として偉大なる使命を遂行せざるべからざる點に想到するに於ては單に經濟線として眞個我帝國の軍事國防上の機能を保持發揚せんが爲め一日も忽諸に附す可からざるものあり仰ぎ願はくば關係地方十有餘年來の熟望の存する所を明察せられ時局の重大と刻下緊急なる經濟界の情勢並に植民政策の根義に順應し適當なる廟算の按排に依り速かに平元鐵道建設の廟議を上可決あらんことを右謹而請願陳情に及び候也

平壤商業會議所會頭　大橋恒藏
元山商業會議所會頭　鎗谷愛介
鎭南浦商業會議所會頭　內田錄作

◎江西輕鐵延長
◆無煙炭礦の事業擴張◆

平南江西に礦區を有する朝鮮無煙炭礦業會社にては既報の如く本年下半期より更に事業の大擴張を計り既に岐陽同社無煙炭工場と同礦山事務所間約五哩半の電話架設は平壤工電社の請負ふところなり本月中に竣成を見るべく尙ほ同事務所より一哩半長山礦區開掘により此が輸送機關として同山まで輕鐵線を延長すべく其實測を終へたれば近く會社直營にて著手すべく更に岐陽驛にも延長計畫あれば早晚其の工を見るべし尤も同社にて製造する練炭は特種製なるを以て今回事業の大擴張と共に從來內地にのみ移出せし同炭を廣く朝鮮內に販賣せん計畫にて目下社員は各主要地需給狀況を調查中なり

◎新安州近狀

◆感冒の猖獗　目下各地に於て猛威を逞ふしつゝある惡性感冒は當地に於て今や流行猖獗を極め患者既に千二百名を出し內死亡者十餘名を算し尙ほ續々死亡率增加の趨勢を示し人々恟々たるの狀態なり　されど小學校は現在に於ては休校せず

◆家屋と地價　製鐵所の建設其他事業界の勃興に伴ひ他より移住するもの多く人口は內鮮支を通じ逐月增加の傾向なるが之等の影響と物價騰貴よりして地價著しく昂騰し一等地坪五圓を唱へ尙ほ家屋の建築を手控へ居る結果家屋拂底し目下空家空間も見ざる盛況を呈し居れりと

◎陣中は既に凱旋の話
不潔の國と野蠻の女と優美な都

記者の友人西伯利に出征して野戰電信隊に在り目下アラゴエチエンスクに滯在し陣營にて左の書簡を認めて近況を報じ來る戰地の氣分躍如として紙上に躍るもののあるを見る即ち其一節を掲ぐることゝせり

柴田兄足下　困苦缺乏とは軍隊の常、卷紙も狀袋も缺乏せるを以て[illegible]にて茲に久濶を謝し消息の一端を兄に呈すべく候、去る八月三日未[illegible]飛來せし一片の赤符は遂に小生を驅つて西伯利旅行を導き同月十五日門司解纜十九日浦潮上陸爾來前進又前進其月廿三四日に亘る

◆クラエスキー激戰は殆んど此戰鬪員の如き電信隊の一通信所にして之れに參加するの光榮に浴し親しく彈雨の裡を馳驅し其節始めて戰爭氣分に相成申候爾來敵は案外逃早く折角固めし力瘤も力ぬけ申候、目下黑龍州の一都アラゴエチエンスクに滯在致し居り候或は此まゝ冬籠りに入るべく候、上陸以來西伯利は蠅や蚊や南京蟲のみ多き不潔國

吾國婦人跣足のもの多き野蠻國との先入主となりしその觀念もこの市に入りて市街の整頓都人士の優美に一掃せられ申候、この市の元は過激派の

◆最も襲威を逞うしたる處にして去る三月日露聯合軍の苦鬪の兩軍停車場等に蜂の巢の如く彈丸の穴となりて留まれる悲慘の極みに候、爾以來隨分苦い嘗めしことゝ候へ共戰爭は思つたより面白きものに候、茫々たる荒野旦として際涯なき草原甚だ風景に候も中空に聳ゆるニコライ塔より入相の響に夕陽を浴びて獨り佇む時さすがに武骨一片の邦士にも

◆無限の想ひはあるものに候彼の有名なサスラヒの歌の西伯利のこの景に親しく接して始めて其の眞價を味はひ得るものに候

西は夕榮東は夜明け
鐘が鳴ります中空に

（中略）今は既に戰爭も下火となり、そろ〳〵凱旋の話も兵卒間にはぢまり申し候何時凱旋するものかこれもなかなか朝飯前の如く容易ではあるまいと存じ候（十月、十日黑龍州ア市にて）

价川の品評會

十一日から十五日まで平南价川で价川順川兩郡聯合の物產品評會が開かれ開期中は同地に芝居活動寫眞、妓生舞踊、角力、煙火其他種々の催しがあるとの事である价川とは如何なる處か此の機會を利用して同地の事情を紹介して見よう（平壤）

◇歷史　平安南道价川郡は高麗の安水鎭と稱し顯宗王九年連州防禦使と改め尋ねて朝陽鎭と改稱す高宗王二年丹兵防禦の功を以て渭州防禦使に復し後、爲州と改め又更に价州と號す李朝太宗王十三年今の名に改め郡と爲す近世郡守を任置し今日に至る

◆地勢　平安南道中部北端に位置し東は[illegible]郡に界し南は順川郡に[illegible]郡に界し[illegible]嶺相重疊し往々[illegible]を見るのみ[illegible]

◆大森林　あり西部は土地稍展開し大同江支流域に於て平坦なる耕地あるも地味磽确にして農產豐ならず耕地の多くは畑にして郡の總面積[illegible]町あり住民は專ら農を營みて之れも大部分は自作及小作[illegible]して傍ら

◆副業　として養蠶　園藝等を爲す生活の程度頗る低く常に粟稗を食し恒產なく生計困難なり

◆人口　戶數八千七百四十餘戶人口四[illegible]

◆產物　としては米を以て第一とし大小豆、黍、[illegible]之に亞ぎ棉花、[illegible]を出す[illegible]

◎惡性感冒の元は
毒瓦斯だといふ
飛拔けたる流言

田舍の朝鮮人中には常に奇拔な風說を流布して喜んでゐる者がある　いつぞや咸山で總督府から出した貯金奬勵の講師が鮮人を集めて貯金の奬勵講話をした所が、それを聞いた頑固な儒生が一同に云ひ觸らすには『貯金だ拆と體裁の好い事を云ふが結局吾々の金を寺內總督が捲上ける考へである、それといふのは總督も近頃賜金拆を餘計に出し過ぎたので（新政後間もなき當時）手許が苦しくなつたからだらう』と云ひ觸らしてゐた事が其筋の人の耳に入り其儒生は召喚されて懇々說諭を受けた所が初めて貯金奬勵の本旨を了解して當局に謝罪したといふ滑稽な話もあつたが近頃又罪のない流言が平南龍岡郡大代面地方で行はれてゐる

それは惡性感冒

の流行に對してである、それによらすには此感冒の原因は獨逸である此事で、何でも獨逸が一種の毒瓦斯を發明して其瓦斯を人に吹き掛けると忽ち感冒を引いて了ふ、それが又劇しい流行性を帶びてゐるので若し戰地で其感冒を引いた者が滿洲から朝鮮を經て歸つて來ようものなら其人が病毒を傳播するのだから到頭こんな惡性感冒が流行する樣になつたといふのである、一體

誰が云觸したか

流行地方では無智の土民が甲から乙から內に觸らして步くので附近の各地へも此流說が傳はる樣になつたので所轄順川署でも捨て置けず而民の重なる者を呼んで說明したとの事である（鎭南浦）

◎死亡した者
大連と旅順で

さしも猖獗を極めたる大連地方の流行性感冒も二三日頃より漸々の降雨と比較的温暖の爲め漸く終熄に近づき各小學校も七日頃より開校する事となれるが終熄期に罹病したる患者は概して重症にして死亡率甚だ多しとの事なり今回の感冒にて死亡せる者大連にて二百名旅順にて八十餘名を算し昨今兩月に比し二倍以上の死亡者を出だしつゝあり（大連）

◎問題であつた
列車給仕と心附
乘つて直ならば貰はぬが下さるものなら頂いても好い

汽車の給仕の心付けは一昨取ることはならぬとか取つても好いとか色々に取沙汰されてゐたが今度內地では汽車の給仕がお客に對してよく世話をやいてくれた時に客がお心に從いて行かうとする心付をお規則づくめて絕對にお斷り申すのは却つて客の好意を無にし惡い氣を持たせる事になるからさういふ場合には鄭重にお禮を申上て少し位の金なら頂戴しても好いといふ事に今度全線に申し渡しがあつた併し或るお客が自分だけ他の客よりも好い待遇を受けたい爲に殊更に乘つて直か乘つてる間に給仕へ心付けをやらうとする事があつても夫は斷然お斷りしなければいけないとの事である、是は各管理局によつて方針が區々だつたのを其を統一する爲めに明治四十二年十二月に鐵道院營業課長から各管理局へ通達した規定の趣意に從つて定された仕方である尙此給仕自身も比較的年上のものを選び日給も五十錢以下だつたのを夫同樣八十錢以下といふ事に改めたさうだ、これは心付の多少によつて給仕の仕事振がぐらつかない爲だそうである

兼二浦人口（十月末）

戶	[illegible]	女	人口計
四八六	[illegible]	八五〇	二五一九

一棧橋帳…
釜山支局　一記者

閣下でも規則は枉ぬ
釜山で煙草の沒收

（煙草と砂糖と人參の注意）

昔から分り切つた事で始終失敗して居る棧橋出張所容に一言を呈して貰ひたい、朝鮮から內地へ品物を持つて歸る內にも莨や砂糖が一番多い樣である勿論大部分の人は承知でもあらうが每日每夜連絡船に行つて見ると此の種の引懸りが頗る多い、卷煙草は百本、葉卷は五十本、砂糖は十斤である、それ以上持參の人は納稅せねばならぬ若し脫稅でも試みたならば野心を起したが最後品物は沒收され罰金の二三百圓は間違ひない、先夜は某閣下がやられた其閣下は滿洲歸りで持歸つた刻煙草が少し惡しくも御存じなかつたので品の沒收丈けで事濟みになつたがかうした間違ひを生ずると飛んでもない非常に手數だし通過客も恥か思ひをせばならぬから御注意まで（釜山）

黑山白水

▲流行性感冒の爲大連の火葬場は意外の收入を見たが▲朝の四時から夜の十一時頃まで働き詰めで閑とも遣り切れないとコボシて居た▲大連火葬場の隱亡は朝鮮人で其の娘が素的な美人だと云ふ噂▲葬式屋の儲かつた事も大したもので平素なら二三回しか使へない花輪なども十回以上も金になつたと云ふ事だ▲お寺は朝の六時頃から夜の十時頃までアッ通しでお布施は面白い程取れるがこれは餘りがたまらず第一口が疲れて讀經が讀めなくなつた事もあるといふ事だ▲ある御寺樣はお葬式の路切りをされたつて三時間ばかりの間に八回も自宅に引退したさうだ（大連）

◎連絡船上陸客　八日午前入港新羅丸二三等客[illegible]三等（二百二十六名）

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .70 500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the present. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng which has in itself the wonderful effects of sedateness.

人參を主藥とし之に沃度及臭素劑を配合せる
◎ミツワ複方人參錠

定價 百錠入金七拾錢 五百錠入金參圓 內地以外は關稅運賃を加ふ

主效
動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、神經衰弱、心悸亢進、心臟肥大、脂肪心、心臟內膜炎、心囊炎、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦充血、腦貧血、腎臟炎、營養不良、精力減退、老衰

本劑は變質作用ある沃度を含有せるが故に動脈の血管壁に於ける石灰の沈著を防ぎ血管の精力を增し、前掲の如き疾患の原因を除き且つ血行を促し體內の新陳代謝を旺盛ならしめ以て動脈硬化、動脈瘤、腦溢血及び心臟病等に卓効を奏す。又鎭靜作用ある臭素を配合するが故に神經系に於ける知覺並に運動の過度の興奮性を下降せしめ神經衰弱症就中神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、神經性心悸亢進等を治し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦充血を治し得べく殊に人參の作用は利尿强壯等の諸作用に依り尿量を增し浮腫を除き、營養不良並に貧血に應用すれば、皮膚蒼白、食慾不振、筋肉痿弱、心窩部の壓迫等の諸徵を回復し、且老衰を防ぎて能く精力を增進する等の著效を奏す。

◎ミツワ複方人參錠適應諸症候

一、心悸の亢ぶり易い人
一、心臟部が壓迫めらるゝやうな人
一、心臟の苦しい人
一、心部の痛み人
一、心に故障のある人
一、呼吸の促つて苦しい人
一、胸の内が苦しい人
一、中風の氣のある人
一、脈搏の亢進を防ぎたい人
一、脈が硬くなつて居る人
一、手足の冷ゆる人
一、水腫のある人
一、物忘れの甚しい人
一、筋肉の萎縮んで居る人
一、皮膚が弛むで居る人
一、顏色が蒼褪めて居る人
一、頭痛に惱む人
一、眩暈に苦む人
一、精力の衰へを失ふ人
一、元氣良く活動したい人
一、延命長壽を冀ふ人
一、以上の他ミツワ人參錠を服むべき人は之を用ひて宜し

發賣品目錄御申越次第送呈　ミツワ石鹼本舖　東京日本橋區橘町　丸見屋商店

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .60 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる
◎ミツワ人參錠

定價 百錠入金拾錢 五百錠入金貳圓 內地以外は關稅運賃を加ふ

主效
神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

本劑は鎭靜、催眠、利尿、健胃、强壯等の諸作用を具ふるものにして其賢的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及び此等の疾患に發現する諸症候、卽ち精神興奮、精神疲勞、意志薄弱、記憶不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不足、不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精陰萎等に對して偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫其の他苦惱を除き、分娩前後及び結核、癌腫、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に營養不良を恢復し、蒼白なりし皮膚をして强壯なる血色に變ぜしめ、體力を增進し、精力減退、卽ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す

◎ミツワ人參錠適應諸症候

一、頭が重く或は痛く頭の內が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて淋しさな人
一、重らうとしても眠れぬ人
一、腸さて困い夢を見たりする人
一、學術の研究を氣に罹ける人
一、何事にも怒り易い人
一、詰らない事も無のに泣きたい人
一、精神の衰弱する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へる事の出來ぬ人
一、物事の判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の良い人
一、雜念頻りに起り注意の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、病後の遺精で悲觀する人
一、腎臟病に罹む人
一、産前産後又は其後の衰弱な人
一、勉强して直に疲れる人を防ぎたい人
一、勞働して疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人
一、筋肉の疲勞を速に癒したい人
一、精力を强くしたい人

[illegible]豫報[illegible]前日最低溫度[illegible]三十度四分[illegible]零下九分[illegible]

廿六番角力

毛谷村六助 六十席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

福島正則は關右衛門一人の爲に加藤左馬助と爭ひ弓矢の沙汰にでもなる樣では穩かで厶いません故關右衛門に其由を申聞け若干の金を與へて引取らせました關右衛門は是から先身を寄せる處もございません故京都へ參つて大徳寺の大龍和尚の弟子となつて名を鐵牛と改め、世の動靜を窺つて居りました處關東關西手切れと聞いて大阪城へ乘込み、大野主馬之助治房の手に屬し、日本橋の大將となつて關右衛門は大阪で討死を遂げました、それは後のお話でございます今七番目の角力がすんで第八番目の己の番になりました故、直行は溜から悠々と現はれ土俵へ上がる主人の左馬之助嘉明は巨摺の丸太を砕くるばかりに押し握り『嘉』關右衛門負けるな、確かりいたせ』と我を忘れて聲を揚げる双方の力士取りをして睨み合つてゐたかと思ふと立上がつて、手先を以て突き合ひまする、其の劇しきことは電光の如く、エイと渡つた左四ツ關右衛門は充分左をさし力に任せて押し切るを、六助も相撲は非凡身體を預けクル/\と土俵を廻るは不思議の手練、左馬助は『嘉』ソレそこぢや』もう一ッ押せ、そこで投げよ、そこぢや/\』と伸び上る、斯ては果てじと關右衛門エイと押し切る土俵際、六助廻らうと爲したるが相手が強い、踏切りながら廻る、掴みの撓みし處を双方組んだる儘横さまに倒れた、何ういふ機か關右衛門は下い六助は上、關右衛門の腹を枕にして撞と仆れた、踏切りは十時が見ると是が非でも六助に勝せねばならんから關扇は六助、直行角力が巧者だから合點しない、行司に對つて關『アイヤ行司、此の角力は某が勝ぢや、何の爲の行司だ、相手は踏切て居るは、踏切りの判らんやうでは行司は勤まるまい』傳『イヤ/\それは叶ん、踏切は無い、關『イ、ヤある』嘉明『敗では加藤左馬助』嘉『關右衛門退るな、確に勝ぢや、退るな/\』威猛高に呼ばはる關右衛門は素よりいつかな動かず』傳『瑞、お前は掛手には相違ない』關『掛けては違ひないが始終仕掛けた角力だ』傳『依つて相手は身體を預け土俵際で廻るは六助の得意だ、乃でお前が捨られたのぢや』關『捨られたといふ事があるか然らば六助の裏をかいた手は何といふ手ぢや』成程そこへゆくと關右衛門の方が角力は見物、其の奥までは知らざるも十時も變り者、其の手は知らんと云ふやうでは進んで行司は勤まらん、何くはぬ顏で』傳『されば角力の手は掛手が十二手、反り手が十二手、捻り手が十二手、投げが十二手是を四十八手といふ』關『それは素よりの事、然て今六助の手は何といふ手だ、其の四十八手の中じ』傳『六助はお前の腹の上へ頭が行つて居る』關『それは判つて居る』傳『依て是が四十八手の内の……四十八手の中の邯鄲』關『默れ、邯鄲の手とは遣ふは爲したが、殿下の御前と云ひ負け惜みと云はれるも殘念と思つて』傳『イヤサ其の邯鄲の中の夢の枕といふのだ』關右衛門は不滿の顏』關『強ては云はねど、俺は幼年より角力が好きであらゆる相手を引受けたが夢の枕などといふ手は聞いたことが無い』柱に坐つて居りし役人も踏切つたやうには思へども、素より各々角力は不得手、溜に居る者共も是で勝負が附いた節には自分達が取ることが出來ない殿下は素より角力はお好き、關右衛門の勝ちのやうには思召せど此の八番で了ひになつては興が無い、未だ跡に廿何番、依て此の勝負は預かりと云ふことになりました、其の次に出ましたのが別所定之進此者立後れをして直に突出されて負けとなりました、次の相手は山崎庄兵衛、力士中第一等の大男、身の丈八尺二寸、大力でございます、此の勝負は次席に。

電話賣買 萬年社 京城明治町一丁目 電話一八四四

◎安東縣近事

▲軍隊送迎中止 北進中なりし軍隊の一部隊は十八日より十九日に亘り一日數回内地へ歸還中なるが以て相當の設備の下に市民も敬意を表する筈なるも目下惡性感冒流行中なるを以て代表者のみの送迎に止めたりと

▲惡性感冒注意 惡性感冒依然として猖獗を極めつゝあるを以て安東居留民團役所に於ては其の筋の通牒に基づき惡性感冒の豫防に關する注意書を各戸に配附したり

▲歸任と辭職 大連へ出張中なりし山内安東縣長は九日午後着列車にて歸任し安東警務署勤務警部補中尾八彌氏は辭職の上近々郷里前中津に歸るべしと

▲所長次席披露 滿鐵安東地方事務所長を囑託された森領事次席として愛に着任したる中山繁雄氏は八日午後六時より料亭太陽樓に於て所員を招待して着任の披露宴を張れり

▲第五資運檢査 幾に高見造船所に於て進水したる第五資運丸檢査の爲め朝鮮總督守都宮技師は九日午前來安檢査に着手したり

▲警察署長會議に 古藤安東警務署長森安東憲兵分隊長は來る十四日警察署長會議列席の爲め旅順へ出張の筈なりと

松乃実トロップス 珍らしき西洋菓子

入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能減得
皮黴科 京城明治町二丁目(元町一丁目) 佐藤醫院 (電話一一七三番)
日曜祭日午後二時迄

十一月十二日九星
舊十月十九日 癸亥
本命 一白 北建赤口

▲一白 慕はれ難儀の事有日新事見合西方は吉時劍北▲二黒 兩損となることあり日新事は吉保證運搬等に禁ず▲三碧 高尚の日轉居等入學吉求職金件建築出漁婚姻等吉▲四緑 眼科歯目轉居旅行入學名弘造作求職金件婚姻等吉▲五黄 脚下の見ぬ事有日新事手控の事は吉買物に用心せらるべし▲六白 祝事の日轉居開業等皆吉女子の心を優しく立身を爲す事なる有の日也▲七赤 萬事の日轉居旅行出漁名弘建築金件結納等吉▲八白 眞まけの事有り新事手控る事は吉尚散財を防かるべし▲九紫 ○圖り事を生さんとす誹意新事見合吉女子は心を勇にもたるべし

最上清酢 日本一 マルカン印

ほまれ味噌 三

上等醬油 龍 日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

壹千五百組限り 上等毛布 二枚一組 一圓五十錢
東京市日本橋區本石町一丁目 呉服問屋關谷商店にて前記上等毛布の處分投を始めたが品色の善き割に値段の安い事は平素信用ある同店の出張所にて決して他店の模倣の出來ぬ處也而も二枚つゞき一組乙號の二圓五十錢甲號三圓五十錢特別上製品四圓三十錢白毛布も四圓卅錢と云ふ破天荒の大見切をなし且同店七週年の紀念として一メッキでなき自然十八金色指輪一を一組の注文毎に一個宛の無代進呈をなすと云ふ因に希望者は品切にならぬ内ハガキで申込み送料なども要無しで送ると

男女共に壹回の服用 腦神經陰 人に告ぐ 腦神經衰弱陰萎等に特効 滋強丸 試用見本無代進呈各藥店に有り 藥價八十五錢、貳圓廿錢、五圓廿錢 東京市京橋築地タイガー商會

村木時計舖 本町二丁目 京城支店 長電四七一 振替京三二九〇

寫眞 京日寫眞製版部 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし御用命に應じ候

尼崎汽船出帆(仁川)
群山木浦下ノ關大阪行
赤城丸 十一月 日後四時出
大有丸 十一月 日後四時出
秀吉丸 十一月十二日後四時出
神代丸 十月 日後四時出
君が代丸 仁川海岸通二丁目(電話五九番) 高杉回漕部

五光商會汽船出帆廣告
◎元山西湖、城津、淸津行
第三琴平丸 十一月 日釜山出帆
◎門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 十一月 日元山出帆
第三琴平丸 十一月 日釜山出帆
釜山 大池回漕部 電話一二三

◎日本郵船出帆(仁川)
大連、天津行
榛名丸 十一月十六日 正午出帆
高砂丸 十一月廿六日
大連、天津牛莊行
濟州丸 十一月 日後三時出帆
仁川海岸通二丁目(電話十〇) 郵船回漕部

朝鮮郵船出帆
▲元山雄基線 元山起點各港寄港雄基
咸鏡丸 十一月十八日元山發
鏡城丸 十一月廿二日元山發
×山陽丸 十一月十七日釜山發
▲大阪行 元山、城津、神戸經由
平壤丸 十一月 日元山發
▲關門行 城津、元山、各港經由
×山陽丸 十一月廿六日元山發
雄基丸 十一月廿九日釜山發
金剛山遊覽便
▲濟州島行 釜山發
呂平丸 十一月二十日釜山發
濟州島行 木浦發
東廻 西廻
慶興丸 十一月十六日木浦發
公州丸 十一月十九日
▲釜山麗水線
釜山、麗水 毎日一回出帆
▲木浦麗水線 釜山行麗水ニテ接續
顯大丸 十一月十七日木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行
公州丸 十一月十四日木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
慶興丸 十一月十一日仁川發
▲海州行 仁川發江華島經由
海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
江田島丸 十一月十八日仁川發
▲大連、青島行 仁川發之罘經由
江原丸 十一月十一日仁川發
○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡ノ便アリ
本社 京城南大門通(電話長一九五三)
釜山支店 釜山佐藤町
元山出張所 元山海岸通
仁川代理店 仁川同回漕部
木浦代理店 木浦堀野回漕部
京城荷客取扱店 京城大門驛前 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

▲敦賀行 淸津發、城津、元山經由
平安丸 十一月十四日淸津發
平壤丸 十一月十八日元山發
▲浦汐行 淸津經由
大阪商船、朝鮮郵船寄港ノ場合不日時變更スル場合有之候ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ニ就キ御承合被下度候

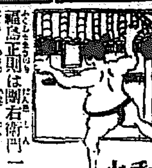
朝鮮郵船出帆
仁川 京城 本町二丁目 電話二六〇八番
京城 南大門 電話二〇一番
内國通運 會社仁川支店
大阪商船株式會社 電話二五〇番

御注意
◎外國航路ニ付船車聯絡ノ爲メ船車聯絡切符發賣
道宮船ヲ時刻ニ五分乃至以テ鐵道會社ト連絡致シ各驛ニテ印トシテ(候)へ

歐洲行 一年四回
南米行 一年四回
濠洲行 毎月一回
北米行 毎月一回
孟買行 毎月一回
南洋行 毎月一回

内地各港出帆上要航路
上海、北隆、打拘行
湖北丸 十一月十九日前六時出
基隆丸 十二月 日後六時出
(大連出帆)
淸津行
安平丸 十一月十一日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸 十一月十日後九時出
(元山出帆)
木浦大阪行
×信濃川丸 十一月十一日後五時出
群山大阪行
安東丸 十一月十三日後五時出
(仁川出帆)
大阪商船出帆

阿波共同汽船出帆(仁川)
大連直行(關東都督府命令航路)
廿一共同丸 十一月十一日正午出 十一日前入港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱
大連にて満鐵各驛行連絡取扱
仁川代理店 野口商會 本町四丁目(電話一七三番)
阿波共同汽船株式會社
元山代理店 田口回漕店 春日町(電話二四四七番)
京城取次店 河村運送店 南大門(電話二七六〇、八二二)



京釜線(南行)[illegible] 同(北行)[illegible] 湖南線(南行)[illegible] 同(北行)[illegible] 京義線(北行)[illegible] 同(南行)[illegible] 兼二浦支線[illegible] 京仁線(仁川行)[illegible] 京元線(北行)[illegible] 同(南行)[illegible]

第五版

京城日報

時買力を増加せるこ本邦に對する…八千六百萬圓に増加したり即ち…一般人民の感情著しく緩和した由に於て約…圓より九千七百萬圓に増加し約十…増加なり因より斯の如き貿…二年以降輸入品の低減は漸次加はる…は一億八千三百五十萬圓に増加せりその他砂糖も同期間に於て一千…增加は大いに注目すべき現象なりこ…

◆原料用品 に關し其輸入…に勝るものありこ謂ふを得べし

本社 京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 電話 編輯 … 營業 … 東京支局 … 編輯兼發行人 … 印刷人 小川三之介 廣告料 … 定價 …

京城日報

鮮鐵穀類運賃改正に就て

從來施せられたる朝鮮鐵道の沿港著穀類長距離遞減運賃は、今十一日より廢止、既定の普通運賃を適用すること同時に、二百六十四哩以内の沿港著穀類賃率は、一噸一哩一錢五厘に改定せられ、鮮鐵重要貨物の運賃制に一變革を來たしたり。換言せば今後は長距離の運賃を引上げたれど、短距離の運賃は反對に引下たること、なるなり。由來貨物の移動集散は、鐵道運賃政策の影響を受くること少からず、其引上並に引下は、程度によりご穀類生產地集散地、特に沿港に對し、多大の利害關係を與ふるを常とす。知らず這回の新運賃制の實施は、如何なる影響を各方面に及ぼすべき乎。

今より六年以前、鮮鐵が沿港著穀類長距離遞減運賃を制定せる當局者は其理由を朝鮮穀類の内地移出獎勵に置きたりき。即ち生產地の穀類を成るべく有利に容易に内地に移出せしむるには、長距離の運賃を大に遞減して、一面貿易商に活躍の餘地を與へ、他面生產地相場の昂上を促し、内鮮取引關係を緊密ならしむるを要すこ云ふにありしが如し。事實此の目的の大部分は達成し、殊に破格に運賃の割引を行ひたる大豆――の如きは、内地各方面に汎く販路を開拓したるに相違なし。然しながら如上の理由は表面の看板たり、看板たらざるまでも副因たり。鮮鐵が此の長距離運賃の遞減を創始せしは、實に自衛のため餘儀なく此擧に出でしなり、即ち此の處置は收入の増加を企圖せんこするにありしなり。蓋し一昨年頃までの鮮鐵營業成績は、貨客共に頗る振はず、鐵道當局の頭痛輕からざりき。即ち百方收入増加の途を求めたる結果、鎭南浦仁川群山木浦等の各港より、船腹にて内地に仕向けらるゝ湖鮮の穀類を、成るべく鐵道に依り釜山に輸出せしめ、釜山より陸續この運搬輸送を行ひ、若干にても鮮鐵經過貨物の増加を圖らんこせしこゝが、長距離運賃遞減制を生み出したる主眼なりこいふも、決して誣言にあらず。而して其の結果、例せば群山港の商圏内たる湖南線の一驛より、短距離を群山に輸送し、群山經由阪神に輸送するよりも、低率なる鮮鐵の穀類長距離運賃にて、釜山經由阪神方面に發送する方有利の採算こなれり。仁川に於ても、鎭南浦に於ても、當局は同樣の結果を來し商圏混亂、各所生產の穀類は、其の從前の吞吐港を捨て、釜山集中の方途に出づる形こなり、各港（釜山を除き）の貨物集散狀態は著しく寂寥を來せりこいふは、たこひ事實に非ざるまでも、少くも釜山の大躍進に比し、其の統計の増加は微々たるものなりき。是れ仁川群山鎭南浦各港の商業會議所並に穀物商の團體が、長距離遞減運賃の撤廢、若くは改正を當局に要望せし所以なりき。當局亦見る所あり、某く二三の有力商のみに限り、年額責任輸送の契約を定め、遞減運賃の許容を與へ居たりしものゝ汎く一般に擴張し、若くは賃率の若干改正を行ひ、以て今日に至れるが而も大綱は依然舊時に異ならざりき。昨年滿鮮鐵道の經營を滿鐵に委託せし以來、滿鐵當局者は穀類運賃の改正に關し種々調査を重ねつゝあるやう聞きしが、其の成案に總督府鐵道局の意見の加はりたるものが、即ち新運賃制なり。思ふに長距離遞減運賃制を撤廢し、反對に短距離運賃の低減を行ひたる理由は種々あるべしこ雖も（一）年來鮮鐵貨客の輸送は、時局の影響を受けて著しく繁忙こなり收入亦激増して自然的に不自然なる長距離遞減制を把持するの必要なきに至りしこ（二）貨物の増加著しく、釜山一港を主要の吐口こする鐵道運賃政策を執るは、滯貨を益々増加せしむる虞れあること（三）時局の影響を受けて、船舶運賃の騰貴著しく、海陸運賃の差違は甚大なるに至り、その差額を狹め、殺到する内地行き鐵道貨物を調節するためにも、長距離遞減制撤廢の必要あること（四）仁川鎭南浦の兩築港完成し、元山亦明年を以て竣工せんこす、是等港灣の利用を講ずる上に於ても、釜山集中の運賃政策を執るは公平にあらずこいふに大要右四點に歸著すべく、吾人は時勢の推移、各般施設の進步に伴ひ、當局者が新賃率實施を斷行の擧に出でしを多こせずんばあらず。新運賃制が如何なる效果を事實の上に齎すべきかは、之を今後に徵するの外なきも、結局釜山經由の出穀は、將來自然減退し、仁川群山木浦鎭南浦元山各港への著穀類は、必ず增進すべし。又長距離輸送貨物の減退は短距離の增加は、鐵道輸送能率を高め、生產地こ沿港間に於ける貨物輸送狀態を圓滑にし、滯貨の漸減を來すべしこ思はる。唯問題は各海港こ内地阪神間の連絡船便を增加せしむるの成算、各港商人が存するや否やに在り。是實に新運賃制の效果を左右するものならざるべからず。たこひ各港に對する生產地よりの鐵道運送增加しても、船腹缺乏に滯貨の陸續しく日子を過ごさるべからざる事こもならば、貨物は依然從來の如く、釜山經由の途をこり、新運賃制は論ずる所長距離運賃引上の結果こなるやも知るべからず。此點に關しては遞信當局並に各地有力穀物商間に於て、相當の方法を講じ居るに相違なく、恐らく大なる遺憾なきを得べく、又た遺憾なからしめざるべからず。（西海）

東京便り

在京 一記者

◇新任小幡公使は十日前後出發赴任すべく、帝國の對支政策は駐支公使の更迭に關聯して内外の注目を惹起致し候。從來大使級の人物を當てられたる駐支公使が、小幡氏の新任に依り若干物足らぬ感無きを得されご、氏の人物力量は駐支公使こして毫末の不足無し、殊に氏は外交官こしての大部分の歲月を支那に暮したる經歷あり、支那の人物國情を知るに於て優々第一位に在り、これ新公使が此の後的内外に好評を博せる所以に之れ有り候。

◇然れども公使の更迭に依り、帝國の對支政策に異常の變動あるが如く解し、新公使に法外の期待を掛ふは見當違ひも甚だし。國家の政策は一官吏の更迭に依りて變動すべきものにあらず。我對支方針は前内閣以來確定不動のものあり、寺内伯が原氏に代り、後藤男が内田子に代るも何等動搖せず。帝國の對支政策を以て大勝の奇術視するは、個々以て國民の外交的智識の幼稚貧弱なるを暴露するものに候。

◇林公使が目下北京に在り、小幡公使の着任を待ちて事務を引繼ぐべく候ふ、小幡氏の新任に就ては大に氏の立場を援護すべしと聲明し、現に小幡氏の爲めに諸方面に斡旋し、新關係の開立に盡力しつゝある有樣に候。これ林男が小幡氏の意見抱負を諒解し、前々の日支關係を維持し、小幡氏の所信を認めざるを知悉し、安心と滿足とを表したる結果に外ならず候。小幡氏の所信推して知るべきか。

◇若し大隈氏の意見の一致[illegible]

[illegible]

◇内田外相の對支方針亦、小幡氏の所見ご異なるなし。蓋し對支外交は帝國外交の樞軸也、内田子が小幡氏を拔擢して此の要職に任ぜる、正に主張抱負を一にせる爲めならずんばあらず候。記者は小幡氏の就任を以て、氣分の轉換が認識するよりも寧ろ方針の一貫こ政策の不動を喜ばずんばあらず、北京官場の滿足せる、亦同一事由に基づくや疑はず候。

◇[illegible]

◇若し夫れ日支關係の新展進に就ては、小幡公使の着任を待ち、別に新聞紙の報道するの機會あるべく候。記者は支那が協同一致速かに和平統一を實現せんことを望み、帝國は之れが爲め相當の援助を吝むものにあらざるを表明せんこす。隨つて我特別大演習觀覽の爲め、支那陸軍の中堅徐樹錚氏の來朝は記者の興味を以て歡迎せんこ欲する所に候（十一月五日）

秋郊散策　安永春雨

出城門。仰秋旻。涼風滿袂。霜華滿林。雨打松齡古路。雲頭稻雲平野秋。徐數游魚立溪岸。遙探紗帽入林邱。及時收穫急於矢。翁媼手鎌吐。

學鳴日。幽邃明深。不近喧囂。

悲玖　竹田孤雨

四山骨瘦楓紅涼。落木飛花欲斷腸。夜半夢殘欲枕起。蕭蕭過雁老愁長。

學鳴日、一詠使人惹愁

齊多經濟狀況(上)

チタ附近に冬營準備中の軍隊の經理狀況を聞くに白米、麥、諸雜穀並に被服類は全部内地及び鮮滿地方にて調辨せるものにして直接同地方より購入するは僅に野菜類、生肉、干草及び建築材料の一部に過ぎず而して其額は聞く所によれば一箇月四十五六萬圓の由薪炭は鈴木商店が滿洲里方面に於て買占[illegible]に反感を抱く軍は對抗策こして直營にて伐採に從事しつゝあり同地方に於ける物資納入者は殆んご邦人商にて朝鮮人一名あり直接露支人より購入するものなきも此等邦商等は物資を露支人より購入するものなるに由り代金は留を要し經理部にても留を以て仕拂をなす狀況なり然れども經理部は漸次軍票並に朝鮮銀行券流布を企圖し別紙（略す）の如きビラを市中各所に貼付し一般露人の諒解を待ちつゝあり

△在住邦商人概況

開戰軍後邦商人の入り込む者日に多數に上るも彼等は商況視察を口にするも多く一攫千金を夢みる群にして眞に企業の計畫ある者少し用兵後入込みたる店舗にして相當物資の輸入をなし居るものは哈爾賓洋行、松浦洋行、梅原洋行出張員並に日露商會位にて之れ等は軍隊こ特殊の關係を結び貨車の配給を受け主に食料品、被服類等日用品を販賣し居れり

邂逅

佐々木峰雪

四十五　繼母(三)

『爾う云へばあの時のお乞食が……』

『奥樣この子なんですよ』

『まア爾うね』

『あの時奥樣は二十錢もお遣りになつたぢやありませんか』

二人は頻りご庄吉の惡口をした。其一言毎に耳の根迄赤らめて、火でも附きさうな面を首垂れた、無念の齒を切る樣さへ顫はる。

『お母さん面目がありません、面目がありません、わたしは天王寺で神乞ひもしましたし、叔父さんの財布も拾ひました、けれご庄ちやんを突き落しやしません』

『何こお前さん秘したつて、役ちやんが云つて居たんですよ』

『わたしお母さん先生こ石ごつこして居たんです、役ちやんそんな事云はう筈はありません、嘘こ仰しやるなら先生に訊いて見て下さい、ねゝ庄ちやんわたし先生こ石ごつこして居ましたわね』こ涙に光る眼を庄造に向けた。

『あゝ兄ちやんぢや無い、僕獨り落つたんです』庄造は鼻へ掛つた聲で云つた。

『坊は默つて居るんですよ』

『けご僕高い所から獨り落つたんですよ』

『いゝわ坊は爾う思つて居るんだけれご、役ちやんが見て知つて居るんだよ』

『でも兄ちやんは役ちやんこ遊ば無いで先生こ遊んで居たんだもの』

『まア』こお里もお染こ顏見合して呆れるより外無かつた。

『坊は知ら無いんだよ』こ稍僞り氣味になつて庄造を制した。

『知つて居る／＼、僕よう知つて居る』こ庄造は痛みを忘れて庄吉の側へ寄つて『兄ちやん泣かないでよ、兄ちやん兄ちやん』庄造は赧め顏に庄吉の肩に掴つた。

『まア奥樣』

お里はあまりの事に眉を寄せた『兄ちやん僕些とも痛か無い、ね兄ちやん泣か無いで』こ潤んだ眼を庄吉に注いで『兄ちやんそんなに泣いちや、僕だつて悲しくなつて泣き度うなるの、ねゝ泣かないでよ』

其眼、其顏に兄弟の眞情が溢れて、限に見ね赤い血潮が通ひ相うた。

『庄ちやん』こ庄造の手を取つて『わたし先生こ石ごつこさへ爲ないんだが、わたし石ごつこを爲なかつたら、此麼泣させやしたくないのに、庄ちやんこんなになつたんだもの、庄ちやん堪忍して下さい、ねゝ庄ちやん』庄吉はいくらか嬉しさうに庄造の手を執つて握り締めた。

『僕獨り落つたんだもの、兄ちやん些とも惡か無いよ、堪忍なんてつちや僕嫌だよ』

『有り難う……』

庄造の手を握つた儘庄吉はあまりのうれしさに突つ俯して泣いた。

『兄ちやん遊びに行かう』庄造は庄吉を慰めるべく斯う云つて、いつもの飛行機の額を取りに行かう／＼こ起つた。

やがて庄吉は庄造に慰められながら表へ出た。後にはお染の邪險こ、お里の呆つ氣に取られた二人の顏が無言の儘一寸も動かなかつた。

外には自分の顏の疵の痛苦も忘れて、嬉々こ嫩いで遊ぶ黄ばんだ庄造の聲こ、憂ひに曇つた力ない庄吉の聲の途切れ／＼に吉兵衛老爺の聲の苦しい胸に聞いて來た。

『まア坊ちやま、迎山も無い事しやつたこ見ゑて、途方も無い繃帶でごわりますな』

『なに、爺これでも痛か無いよ』

『おゝ／＼坊ちやま、流石は坊ちやまだや、お強い／＼』

『僕爺日本の兵隊さんだよ』

『はゝ、そりやもう鎭臺さんも碌な、立派な大將さまでごわります』

『さうだ僕が大將だ、戰爭して負傷したんだ、ねゝ兄ちやん』

『あゝ』こ庄吉の聲は半ば晴れやかな、半ば憂ひに曇つた聲であつた。

大隈侯主宰

大觀 十一月號

大臣の大臣評
寺内こ原君……大隈前首相
積極緊縮こ白紙首相……武富前藏相
兼職法相について……尾崎前法相
新農相こ米價……仲小路前農相
中橋君に望む……高田前文相
數理に長ずる野田君……元田前遞相
床次君苦心の焦點……小野前内相
内田は傑物……尾崎前法相
兒玉縱横新陸相……東前陸相

◇日本の文展を見て……大木伯爵
◇瀟多起原考……春日鎭之介

講和條件如何 執筆者は如左
小野塚、神戸、添田、副島、上杉、千賀諸博士、大石、武富、尾崎、小村侯等諸政治家、メーボン、スコット、バイスト、白耳義公使等の諸外人等四十一名家に及ぶ。其文は通じて其の人を見る。妙味頗る多し

手足を捥取れ……新渡戸博士
ウィルソン氏の宣言こ媾和の基礎……浮田博士
無條件降服迄……島田三郎
大隈侯座談
講和尙早し 媾和に對する帝國の態度を宣明したる大論文……大隈侯
國人の最も注意すべき一箇條……久米博士
刻下の三大經濟問題……高橋藏相
平清盛論
原内閣成立の内幕
文士の新内閣觀
▽馬場孤蝶▽岩野泡鳴▽正宗白鳥▽小川未明▽江間修▽吉田弦二郎▽三井甲之▽田中純▽鈴木善太郎▽柴田勝衛▽白石實三▽上司小劍
鐵牛
文科の本
危介者……正宗白鳥
雀の生活……北原白秋 大正文壇の大收獲こして記録せらるべき長篇散文詩也
定價金卅錢（郵税二錢） 東京市牛込區市ヶ谷町九十三 電話番町四八四 振替四〇九五六 大觀社

代理部の帽子は紳士の品格を作る

地方ノ御注文ハ必ズ御名稱ヲ合ナサ寸法レナク御指示被下度候送料一ヶニ付十二錢
京城本町通り
京城日報社代理部
振替京城二〇〇番

責任保證

ラーヂ萬年筆

目錄進呈

賜宮内省御買上
賜閑院宮殿下御買上之榮
賜久邇宮殿下御買上之榮
添李王世子殿下御納之榮
於各博覽會金銀賞牌受領

注意
元帥陸軍大將川村景明閣下、軍事參議官海軍大將出羽重遠閣下貴衆兩院の長老諸名士男爵閣下外三十有餘名の諸名士より本品の優良廉價なる事を證明せらる
萬年筆の鑑識困難なるにつけ近來金ペンの粗惡なるものを見受け申候信用ある商店で責任ある商品を求めらるゝが最も賢明にして最も完全なる方法と存じ候

特約販賣御希望の御方は御申込被下度特に御相談可申上候

特價金壹圓五十錢より十四圓迄三十餘種有之候

學習院高等師範學校御用 文房具問屋 酒井長次郎商店 東京市日本橋區馬喰町二丁目 電話浪花五一七 振替東京九四五三

四大家書畫會

一本、四大家書畫會は、現代第一流の書家及び畫家の揮毫にかゝる、畫二幅、書二幅を春、夏、秋、冬の四幅掛けに組合せ一口として會員に頒つものなり。

一會費（四拾八圓）は揮毫出來の節、現品引換（地方は代金引換郵便にて）に頂戴し、更に申込金等を請求せず。

一筆者四先生中には、文展審査員あり又知名の文士ありて、何れも識見溷達人格高潔なる大家のみなり。

一作品は、水墨、淡彩、極彩色にて、人物あり山水あり又花鳥あり、書も正、行、草等種々あれども要するに皆設色筆蹟に各自の人格を彷彿せしむる傑作なり。

一筆者諸先生の姓名を列記したる詳細の規定書及び作品見本等總て準備しあり、御希望の諸賢は、ハガキに「四大家書畫會の規定書並に見本送附相成度候」と記し、（東京市麹町區元園町中央出版協會）宛てに御申越下さらば、直に送呈す。

昨今、新畫窃に印刷したるも其實筆者が揮毫料を屆くまで贈賣せしめたるにあらず、其の間に介する者ありて暴利を貪るが故にて、邦國書道及び畫道の爲め敵に嘆ずべき事なり。依て當中央出版協會は、特に筆者諸先生に直接交渉し、出來得る限り低廉の會費を以て自信ある作品を、眞の書畫愛好家のみに頒たん趣旨にて本四大家書畫會を開催せる次第なり。隨て會數は一般に比すれば殆ご半額にも足らざるべし。規定及見本を御覧下さらば本會の性質は判明す。併し希望數に限りある故申込多數なる場合は謝絶する事あるべし。

東京市麹町區元園町
中央出版協會

◇獨帝愈退位
獨帝の退位は愈々宣布されたり

其筋着電＝獨帝の退位は愈々宣布されたり(東京至急電報)

◇獨逸の回答期間こして七十二時間の猶豫
獨逸委員の休戰要求拒絶さる

獨逸休戰委員は八日フオツシユ元帥の總司令部に着し正式に休戰の要求を爲たり聯合國の休戰條件本文は獨逸委員に讀聞かされたり其際獨逸委員は戰鬪を中止せん事を要求したるが拒絶されたり委員は本國政府に照會し且休戰條件正文を獨逸大本營所在地なるスパノ迄使者を以て送附するを許さん事を要求せるが此要求は聽許されたるを以て使者は獨逸に向つて出發せり獨逸の回答期間こして七十二時間の猶豫を許可されたり即ち十一日(月曜日)午前迄には獨逸よりの回答到達す可き筈なり(東京電報)

◇對獨條件應諾乎
フオツシユ元帥は七日獨逸休戰談判委員こ會見す可しこ信ぜらる倫敦にては獨逸は其軍事上及び國內の事態日を逐うて容易ならざるにより結局聯合軍の提示せる休戰條件を應諾す可しこの豫想一致せり(倫敦電報)

◇獨休戰調印無根
華盛頓某所著電＝獨逸は休戰條約に調印せりこのユナイテツド、プレツス通信七日正午華盛頓に到着し號外にて發表されたるより國務省は念の爲め巴里に照會したるに右は無根なりこの取消し有りたるに拘らず全國を通じ八日夜深更迄祝賀に熱狂せり右に就き公衆頻に演出の責任者は通信社は勿論新聞檢閲係りに有りこの攻擊起れり(東京特電)

◇講和來と研究會
講和接近し來れるより我外務省に於ける講和研究會議は今後時々開會さるゝ事こなり一週一回陸海軍兩軍務局長、參謀本部二部長、外務省より次官、政務局長等會合の筈(東京特電)

◇聖旨傳達と御禮
其筋着電＝孟吉林督軍は今般御差遣の中田侍從武官より親しく聖旨を傳へられ且つ御下賜品を傳達され聖恩の優渥なるに感激し北京政府を通じ御禮執奏方を依賴せり之が爲め參戰督辦段祺瑞氏は七日特に羅課長代理を北京公使館附武官齋藤中將の許に遣はし御禮執奏方を乞へり(東京特電)

◇廣東政府平和問題返電
廣東軍政府は北京和平期成會より平和問題に關する通告に接したるより直に政務會議を開き下記の返電を爲す事に決議せり＝民國七年こなる戰亂相踵ぎて起るは從來姑息手段に依りて妥協せんこせしに據る和平は法に依り永久的に根本より回復するを要す護法は神聖なる共和政治を回復するものなり諸君救國の誠意に基づき根本的に解決を圖らん事を望む又廣東國會側より和平は希望する處なれども一時的にして姑息的なる妥協は贊成する事能はず』こ返電したり(北京特電)

◇各督軍和平一致
徐總統の招請に依り北京に參集せる督軍都統等は各自總統こ意見を交換しつゝあり督軍會議は開催されざる模樣にて陳光遠、王占元、盧永祥氏等は數日內に退京すべく次いで他の督軍等も歸任す可し今回參集せる督軍等は何れも徐總統の和平方針に贊同せるが尙中央財政の逼迫につれて軍隊を收縮することに同意したるものゝ如し(北京特電)

◇譚浩明妥協打電
在廣西譚浩明氏は八日錢代理總理に對し「貴總理の主張には予も亦同意なるを以て我が軍は前進を中止す中央政府は宜しく民意を根據こし誠意を以て時局を解決せん事を切す」こ打電したり文中一語も法律問題に言及し居らず爲に北京主和派の一部は陸榮廷一派が漸次妥協に接近し來れりこ思惟し居れり(北京特電)

◇チ軍金貨鹵獲
英國下院に於て外務次官セシル卿はチエツクスロヴアク軍がカザンにて金貨六千五百萬留を鹵獲し……

上の確執を擲棄し政治上の實際問題に依りて解決せんこ迄を申込み來れりこれ廣東電報こ反對なれこ陸榮廷氏個人こしての意見ならんか……せりこ(東京特電)

◇借款契約延期承諾
支那財政部は八日四國銀行團に對し千九百十一年の幣制借款契約を更に明年四月(六箇月)迄延期する事を承諾し尙金券條令に關しては今後双方間に討議研究する旨回答し同條外交團にも同答せり(北京特電)

◇鹽稅剩餘金交附
財政部より鹽稅剩餘金五百三十萬弗を要求し來れるに對し銀行團は八日之を交附せり(北京特電)

◇聯合軍セダン入城
聯合軍はセダンに入城せり(巴里電報)

◇對支方針 宣言見合
原內閣は對支方針に就き宣言を發すべき內議ありしも既に其の時機を失したる嫌ひあるのみならず政友が對支方針こして內政不干涉一視同仁日支親善主義を實行しつゝあるは夙に明かなる所にして在野に關せず其の主張を二三にするものにあらず從つて此際宣言發表を見合すに決定せりこ(東京特電)

◇海軍異動
海軍省は十日將官、佐官、尉官其他三百餘の異動を發表せり主なるもの左の如し(東京特電)

海軍少將 田所廣海
免本職補將官會議員
同 平賀德太郎
待命被仰付
補教育本部第一部長 下村延太郎
補佐世保鎭守府參謀長 百武三郎
海軍大佐
補第二艦隊參謀長 中川繁丑
同 補日向艦長 三村錦三郎
同 小林研藏
補第三水雷戰隊司令官心得 大塚助次郎
同 補呉鎭守府附 勝木源次郎
同 補霧島艦長 生野太郎八
同 補安藝艦長 田口久盛
同 補舞鶴鎭守府參謀長 內田虎三郎
同 補常磐艦長 森本義寬
同 補呉鎭守府附 海老原啓一
同 補伊吹艦長 大谷幸四郎
同 補鹿島艦長 安村介一
同 補生駒艦長 福地嘉太郎
同 補舞鶴海兵團長兼見張所長 牟田重太郎
補佐世保海軍人事部長
同 補八雲艦長 今泉哲太郎
同 補軍令部出仕 野村吉三郎
同 補阿蘇艦長 井手元治
同 補第十三潛水隊司令 福田一郎

◇大使館參事官
九日左の通り辭令ありたり(東京特電)

任大使館參事官(二等) 米國在勤被仰付 大使館一等書記官 出淵勝次

◇芳澤參事官歸任
芳澤參事官は小幡公使の赴任後歸朝し暫く本省の上明春亞細亞局の新設こ共に同局長たるに內定せり尙田中新通商局長は月末歸朝就任の筈なり(東京特電)

◇徐將軍著京
徐上將軍一行は十日夜東京驛着入京せり(東京特電)

◇中村都督歸任
滿鐵八年度豫算會議の爲め中村都督は九日來連會議を終り十日午前歸任せり(大連特電)

◎京畿道金融組合員外預金に就て
京畿道管內金融組合に於る組合員外の預金取扱に關し松本京畿道第二部長は十一月八日附を以て管內各金融組合理事宛に通牒を發する所ありたるが右に依れば金融組合に於る組合員に非ざる者は加入豫約者に對し出資口の金額に達する迄及び組合員こ同一の家に在る者、公共團體又は營利の目的こする法人若くは團體の預金は必要に依り之が取扱を申請するこを得、右の外組合員外の預金は組合に於て缺損に關すべき債權及び所有物件の賣却を要すべき金額に付夫々缺損又は賣却の處分を爲した後缺損補塡備金及び特別準備金の合計三千圓に達する組合に限りこれが取扱を認可せらるゝに付右申請には組合の業況及び財產の狀況並に地方經濟狀態が組合員外の預金取扱を必要こする事情に關する說明書を添附すべき事こせり

◎穀類運賃改正の要旨
當分新運賃制にて經過せん 久保滿鐵京管局長談

十一日より從來執り來つた百九十五哩以上の遞遠法による穀類特定運賃を廢止し二百六十四哩以內の運賃は一噸一哩

▲一錢五厘に 低下したのは乃ち長距離割引上短距離割引下の形こなるのであるが從來長距離運賃の遞減を行つた事情は穀類の移出を獎勵するこ云ふ事その他色々あるけれど要するに鮮鐵の自衛策乃ち收入增加の企圖より來てるたのであつた、所が今日の鮮鐵は自衛策より出づる長距離運賃の遞減を執るの必要なきまで營業成績は擧つてるる又穀類の長距離運賃遞減の結果は幾分移出穀類の釜山偏重々くに仁川や群山や南浦方面からその存續に對する苦狀が絶えず又之れあるがために若干滯貨の增加を招きはせぬかこも思はれるのである、乃で之等の弊害を除

▲希望を容れ くべく今回穀類運賃改正實行を見るに至つたのだが然も釜山經由運搬鐵道運賃は船運賃より遙に安いのであるから結果は果して如何になつて來るか之れを今後の事實に徵さねばよく分らない、又運賃改正の結果釜山の繁榮が奪はれはせぬかこ云ふ說も出てるるけれど事實は釜山の滯貨を減少し埠頭の整理をするこいふ位に留まり釜山の死活に關するやうの事は斷じてなからう、コレ釜山人士の間に

▲何等議論の 起らぬ所以こ考へる、又各港着の穀類は多少運賃低減の影響を受け若干量の增加を來す事であらう、尙ほ此の運賃は向ふ六箇月間試驗的に實施するこ云ふ事になつてるるけれど改正の趣旨が趣旨こてその六箇月間に何か豫期し難い特種事情の湧起せぬ限り此の方針は當分繼續せらるゝものこ見て好い、又その間に時局の關係その他の理由により運賃率を動かす必要でも生ずれば若干の改正を加ふる事こなるかも知れぬ

◎京畿里區域變更
松永京畿道長官は本月八日京畿道告示第四十九號を以て管內高陽郡龍江面小里の名稱並に區域を左の通り變更する旨發表せり

名稱區域	新名稱區域	摘要
松亭里	松亭里	一部君子里に編入
	君子里	一部編入
君子里	君子里	一部松亭里に編入
	陵里	一部編入
	松亭里	一部編入
陵里	陵里	一部君子里及中谷里に編入
	中谷里	一部編入
中谷里	陵里	一部編入
	中谷里	一部陵里及面牧里に編入
面牧里	面牧里	一部編入
	中谷里	一部編入
	面牧里	一部中谷里に編入

◎侍從武官著期
北滿派遣軍慰問の爲め同地方に差遣されたる中田侍從武官は十一日午後七時二十分南大門驛着列車にて入京朝鮮ホテルへ投宿の筈

◇殖銀の謙遜
自下に過ぎる中村理事の態度

朝鮮殖產銀行は資本金一千萬圓の大銀行であつて政府の無利子貸下金あり補助あり

▲政府持株 の配當免除あり鮮銀の低利融通あり更に債券の發行は拂込資本金十倍までの權能を與へられ六農銀の營業をそつくりその儘受け繼いだのであつて、その基礎こ信用の鞏固な事は予等が云ふまでもなく公知な事實であるが、同行重役の中堅商業金融ヶ長たる中村理事は何故か醜く謙遜し銀行の格を自ら落さうこしてるるのは予等の解し能はざる所、中村君の如き積極的な銀行家に似合ぬ事こ思ふ、乃ち最近京城組合銀行の代表者が甚久所に集まつて

▲預金利子 の引上につき協議をした所、中村君は殖產銀行の預金公表利子を京城銀行や韓一銀行こ同格に置きたいこ例の鋭ひで極力主張した、然もそれでは餘り謙遜自下に過ぎはせぬ乎こ各銀行の反對あり結局(一)鮮銀、一銀、百卅、十八(二)殖銀(三)漢城、商業、京城、韓一こ云ふ事に極つたが前述の如き特典あり堂々たる特種銀行こして半島の財界に濶步すべき使命を有する殖產銀行の本店が資本金三百萬圓の十八銀行の一支店こ同格に据らうこ云ふ事をも主張せずその一支店の下格にくぐり込み韓一銀行なみでよいこ極力主張したのは

▲自衛策 より來たものらしいこは云へ餘りに謙遜に過ぎはせぬ乎、成る程農銀時代には韓一や京銀より預金利子は定期二厘高、當座一厘高であつたから殖銀こなつて此の二厘こ一厘を沒すればよいではないかこ云ふのが中村君の論法のやうであつたが奏任が勅任に上れば夫相當の格式こ待遇が要る況んや農銀から殖銀へは判任より勅任昇進の觀あり、十八銀行支店並みの預金利子を公表したこて其の內實に於て多少の手心＝ドコでも加へてるる＝を加へるならば預金の減少こ云ふやうな事は決して

▲心配あるまい では ないか、韓一や京銀より幾分預金利子が高くなつたからこて皆公表した＝になるよりも堂々朝鮮銀行や十八銀行なみに預金利子を決定たからこ云つて公表した方がドレ丈け男らしいかも知れぬのである(某銀行家談)

◎航空隊の安著
……なる根據地に安著せり(東京特電)

……かたる▲船舶の新造購入敵船捕獲等に由り五百四十四萬三千噸を補充せりこ(東京特電)

……連各學校は病勢終熄に近づきたるを以て十一日より開校する事こなれり……

◎石塚總裁消息
ハルビンにありし石塚東拓總裁は同地よりチタに赴きしが既にハルビンに歸り近々南下すべしこ

◎電信修技生募集
遞信局にては十二月從事員養成所に入所せしむべき第十三回電信修技生三十五名を募集し居れるが志願者は成規により二十五日までに願出づべしこ

◎遞信局雇員採用
遞信局爲替貯金管理所にては男女雇員數名を採用する由なるが希望者は同所に就き承合すべしこ

人事消息
▲野村泰一氏(鮮銀鎭南浦支店長) 十日夜入京不知火へ

▲石井清次氏(鮮銀咸興支店長) 同上山本へ

▲篠田治策氏(平南第一部長) 十日退京 ▲竹山純十氏 ▲平形加一氏 ▲黒田義男氏 ▲林繁一郎氏(以上第一銀行員) 十日退京

▲三好清太郎氏 十一日朝南大門驛發仁川より海路大連に向ふ豫定のところ都合に依り一日延期し翌十二日午前九時五分の大門發同地に向ふ可し

◎鳥瞰錄
◎今朝の惡性風邪は犯されるものが普通で罷らぬ者は異例こなつてるる▲朝鮮銀行の如きは嘉納副總裁片山理事から下は小使に至るまで輕重長短の差はあつてもあらかた一回りまはつたさうな▲その中でもの、を止めたのは不破秘書役の病臥こ事である由來不破氏は精力旺盛體質頑健を以て何人にも自慢してゐた▲何でも十三年前統監府時代に一日か二日か輕い風邪で病臥した外總督府事務官並に鮮銀秘書役こして久しく勤續せる間病を口實こして公務を缺いだこ云ふ事は唯の一度もなかつたらしい▲『僕だけは病氣が向ふで逃る』こ云ふ自信が秘書役にあるので柔道五段の嘉納副總裁が早仕舞に風邪休みをし▲乘馬で可なり身體を鍛へてるねばならぬ筈の片山理事や吉田營業課長に相役の飯泉秘書役井上營業課長▲さては風邪なら此方で御免だよこ笑ふ辯のある島雄庶務課長迄が同時に若くは相前後して倒れても『ウフ、ン』こ鼻であしらつて毎日の食堂の寄合で自ら衆の弱い事を笑つてるた▲所が今度の風邪の神は此の剛勇の不破君をものがさぬ遂にこりついて此頃ドカこ床に寢ついたそして高熱四十度こ云ふ▲平素笑ちはぬだけそれだけ熱の來方が一時に來て『ウフ、、ン』こ笑つたのをその儘ウ、、、、ンくく』で唸りつゞけたさうな▲その唸りは幸ひに家人の外多く知られてるぬけれこ數日前治つて銀行に出るこ前に笑はれた同僚から包圍的の逆襲を受け『どうも寒くなつた』などゝ顧みて他を言ひながら苦しい立場を逃れるに腐心してるるこか▲序に解說の島雄庶務課長は何人か訪ねて行つても『お早う』こ云ふ事にきめてるらしい▲マア午前ならばよいが午後は止めたらどうだらうこ他人の事を氣にしてるるものもある▲ナゼ島雄氏が『お早う』の聲を對人第一に放すのかは一寸分らぬ

大阪米況
▲前場 今朝鮮如小口……

大阪株況
……け至るな止は十七錢こ戻し彦足歩調に……

東京米況
▲前場 正米高及び地方筋の買に六十九錢こ上放れて寄付きたるも……

▲廣告▼

法人登記公告
湯川金融組合登記變更
理事野口貞二死亡ニ付大正七年拾月貳拾八日平山部細谷面湯川里九拾七番地藤本守理事ニ任命セラレタリ
右大正七年拾壹月九日登記
海州地方法院平山出張所

公告
一、金化金融組合登記事項中理事十橋貞次ノ住所ヲ左ノ通リ變更ス
大正七年拾月貳拾貳日轉居 金化郡金化面邑內里四八六番地
一、金城金融組合登記事項中理事十橋貞次ノ住所ヲ左ノ通リ變更ス
大正七年拾月貳拾貳日轉居 金化郡金化面邑內里四八六番地
右大正七年拾月貳拾貳日登記
京城地方法院金化出張所

拂下公告
一、尿尿馬車積荷四千臺
右十一月十二日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

公告
一、馬車々輪外二點
右十一月十四日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城府

電信修技生募集
當局電信修技生中若干名ヲ朝鮮人ヨリ募集ス年齡十五年以上二十一年未滿詳細ハ當局從事員養成所ニ就キ承合スヘシ但郵便照會ハ郵券貳錢添付ノコト
大正七年十一月
南滿洲鐵道株式會社京城管理局

最新刊
高島平三郎校閱 兒童學概論 三〇〇 一六
川部俊藏著 發見創作安全簡易兒童理化實驗法 定價一五〇 一二
水產學通論 一九〇 一二
野生藥草採取こ其販賣法 一五〇 一四
志を立つる道 一六〇 一二
久保正夫譯 鐵及鋼化學分析試驗法 六五 〇四
ヘルマンこドロテア
支那山東記 大陸遊記
新式 小賣繁榮策 一八〇 一〇
京城本町 大阪屋號

メリヤス各種
諸雜貨
御仕入の方は
瀨戶商店へ
京城南大門通一丁目 電話二七一七番

シユクリーム
賣出し
シユクリーム 大箱 五十錢
シユクリーム 小箱 三十錢
京城本町電話 二七 四七五番 龜屋

ニツポノホン
十一月新譜 (賣出し)
皆新
晚秋の月
紅葉の錦は梢を飾る
ニツポノホンの新譜は
生活に光輝を與へる
鷲印レコード(兩面盤)
定價金壹圓貳拾錢
▼どんな所が吹込まれたか
▼讀んで面白い
十一月月報(總呈す)
○西洋名家新レコード出來(カタログ進呈)
○常盤津 戻り橋 松尾太夫
○活動寫眞 神の娘 染井
○コールネツト グロリオソ 中川
劇歌 森の娘 山羊さんに、火の粉さん、水鳥の花 私が仲よしや 松井須磨子 田邊若男
○落語 野崎詣 花橘
○源氏節 芝居 朧夜叉 松旭
○長唄 初時雨 兵藏
○薩摩琵琶 七卿落 錦心
朝鮮京城本町二丁目 日本蓄音器商會

朝鮮總督府編纂 朝鮮大地圖
▲八十萬分ノ一縮圖 縱四尺五寸 橫二尺五寸 ▲折疊定價二圓五十錢 ▲軸製送料十二錢
本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色こする處は道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり……
發賣元 京城日報社代理部 振替二〇〇番

不知火
長田幹彦氏の新著‥ 北野恒富、島成園、島御風氏の挿繪七十六枚
大阪朝日新聞へ連載して滿天下の士女を泣かせた小說です。純潔玉の如き少女が一途に思ひつめたる戀の爲めみぢめな終りを遂げる痛ましい小說です。甘い戀苦い戀、眞實の戀虛僞の戀の相綜錯して其の解決を涙の港死の海に見出す悲しい小說です。
何しろ非常の景氣で三版迄全部豫約申込の方へ向けました今度の發賣はすつかり四版です
裝幀は服部普白氏の意匠で、布表紙へ可憐な濱邊の花を刷り出し其れへ金文字を嵌め込んだ美しい限りのもので上下二冊を一つの箱へ入れて……定價金貳圓五拾錢 送料は拾錢ですが直接本社へ前金で御申込の方には送料本社持で即時發送致します。
發行所は近頃出版界の驚異と目されつゝある 玄文社 東京芝區芝公園九號地 振替東京一四一七七番

自宅獨習 和洋裁縫講習錄 生徒募集
皇后陛下天覽 台覽
文部省檢定試驗委員 共立女子職業學校教師 執筆
(教授內容) 和服裁縫科 洋服裁縫科 裁縫小物科 □國民道德□家事 裁縫教授法□家庭 色染□試驗問題 等を全部含み
卒業一ヶ年 月謝四拾錢 一見本附規則郵券二錢送れ、論よりも證據
裁縫の本は多いが何れも裁方を述べた位で縫方など殆ご教へてない自習用にはならぬ本會は特別の方法により全く學校に於て教授すこ同様何人にも分る樣多數の圖を用ひて詳細丁寧に說明し自宅に居ながら東京の最高な裁縫學校卒業こ同様の學力を授く
新學期開始 學校に行くをうらやむ要なき文明時代來る速に入會せよ
東京市神田區今川小路一番地 日本裁縫教育會

◇陸時局解決交渉

陳樂廷氏は代表を湖南衡州呉佩孚氏の許に派し時局解決に關し法理を…

◇英艦喪失噸數

某所著電＝英國海軍省の發表に據れば開戰以來本年九月迄に戰爭の爲め減じ危難に依り喪失したる英國汽船は八百九十四萬六千噸に上に…

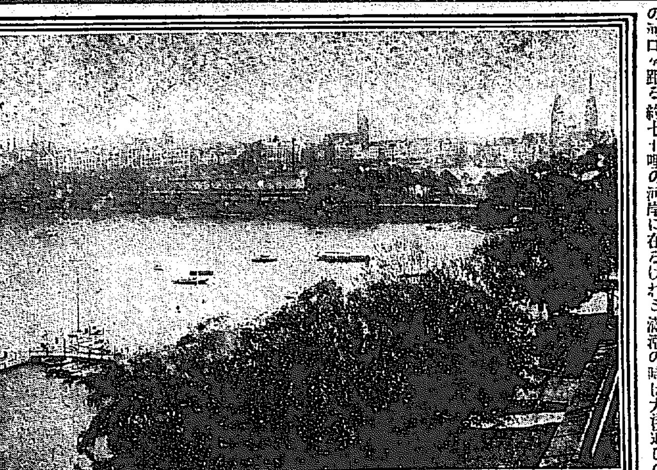
◇各學校の開校

…流行性感冒の爲め休業中なりし…

◇大混亂の漢堡

＝プロシャ唯一の貿易港＝

獨逸の大都市ハンブルグに暴動起りし事は別項記載の如くなるが現にハンブルグが獨逸に於ける重要都市であると同時に歴史的にも有名な都市であつた丈け此の騒動に關しては世人の注意が蒐まるところであらう、由來ハンブルグは獨逸プロシャに於ける唯一の貿易港で都市も至つて殷賑である、ブレーメン、リユウベツクと共に三自由市と稱し其の昔中歐の商權を掌握したハンザ同盟の加盟市であるエルベ河の河口を距る約七十哩の河岸に在るけれど滿潮の時は大洋通ひの巨船自由に往復することが出來、市と郡部とに區分されてある、今に獨逸國外貿易の關門で商業隆盛各種の織物、煙草、砂糖等の製造工業が盛んであるこいふ事、世紀の初めシャーレマン氏が此處を創立し前にも書いた通り中古時代にはハンザ同盟市府の覇を唱へ又自由港であつたが最近一千八百八十八年に至つて獨逸に於ける關税同盟にも加入したる市街である。彼の有名なキール軍港の南方約百十基米突、ベルリンの西北約二百七十基米突、ブレーメンの東北約九十基米突の位置を占めエルベ河に據つて北海に通ずる商港を爲し人口八十餘萬を數へるこいふ所である



◎漢堡市街砲兵戰

キール叛亂ホルスタインに傳播

コペンハーゲン來電＝獨キール軍港にて爆發せる革命はシユレスウイヒ、ホルスタインに傳播しつゝあり漢堡市は今や叛亂の爲め鼎の湧くが如く市街にては砲兵戰行はれつゝあり（紐育電報）

▽叛亂者キ軍港占領

純然たる革命運動となる

鎭撫のため出動したる軍隊叛亂者に投ず

海牙來電に據れば獨逸の失墜は國民間に猛烈なる憤怒を醸成し波羅的海より北海に亘りて純然たる革命運動起れりキールにては三日叛亂起り鎭撫の爲め軍隊出動したるに拘らず暴徒はキール軍港造兵廠を占領し五日に至り同軍港碇泊中の艦船全部暴徒の掌中に歸せり叛徒は十一月五六兩日中にウイルヘルムス、ハーフエンに蔓延し同港内艦隊所屬艦船は直に叛亂運動に卷込れたり尚アムステルダムに達せる報に據れば漢堡にては同地守備隊中の兵士一萬五千乃至二萬は叛亂せる水兵及び同盟罷業者の群に投じたり（巴里電報）

◎旅順は……不景氣です

◇◇中村都督夫人曰く　中村關東都督夫人、令嬢一行五名は九日夜南大門驛着列車にて入京天眞樓に入り十日は久保京管局長と共に自動車を驅り市中見物の上十一日朝發南行列車にて内地へ向ふ筈なるが夫人令嬢は『何も面白い事は有りませんよ』とニコ〳〵しながら語るゝつ良人の

▽辭職說　があるのですつ〔それは何かの間違ひでせうよ、妾達は七月から彼方に居ましたが主人からは無論、誰からもそんな噂を聞いた事は有りません何しろ彼方に滯留中一寸も外出して見なかつたので薩張り事情が分かりません而し内地は申すに及ばず朝鮮滿洲到る處それは〳〵大した

▽好景氣　なのに比べて旅順ばかりは此好景氣から除外されたもの、樣に寧ろ不景氣に苦しんで居る樣です從つて景氣のいゝ大連や滿洲各地へ段々引き付けられて移つて行く者が多く漸次衰微して行く樣に思はれます今の内に大に廠でも建てるか何かの方法を講して救濟したいものです

▽大連の短銃强盗事件（四）△

嬌逸物語

『旦那濟ませんが……』

此處こそ腹に一物悟氣にからんで

遣り過してから尾行する

八景亭の抱藝妓菊枝と斯うした深い仲になつた時は勿論女も僕が如何なる職掌に在る男かは知つて居た。そこで刑事と云ふ職に在る僕としては少しでも胸中の計畫を女に覺られまいとせねばならないそれには身も魂も女に打込んで

本職を怠つて居るやうに見せか

けねばならぬ。僕は朝、晝、晩の區別なく暇さへあれば菊枝の傍に附て居つた。其中にも窃盗を兇行現場に落した犯人がもし菊枝と關係がある男だつたら自分で尋ねて來るか、或は又手紙でも寄越しはしないかと心を配つて居た。すると或日の宵の口だつた。一人の使ひが八景亭の帳場を訪ねて來て

菊枝さんに

此手紙を渡して下さいと頼んで歸つて行つた。僕は何食はぬ顔をして菊枝の側を離れず封書の表裏を見ると表には菊枝樣、裏には大連黑城町松村靴店内太田新太郎と署名してあつた。手紙を讀み終つた菊枝は稍改まつた口調で『旦那、濟みませんが、一寸朋輩の人が相談したい事があると言つて寄越しましたから一寸でいいから遣つて下さいな……』と云ふ僕は然ださ思ふ腹に一物、苦い顔をして『友達から來てくれとの事なら行つてもいいが、あまり遲くなると困るよ、俺を置いて放りにして

好きな男どても會ふんぢやないか

それだと承知しないぞ。然しまア折角だから行つておいで……。午前二時頃までには否が應でも歸つて聞はね俺は寂しくてやりきれない。その心算でね……』と恰氣を含んだ口說き方。女は其旨承知して、是非二時迄には歸りますと答へていそ〳〵と出て行つた。サア愚圖〳〵しては居られない。菊枝が八景亭の門を出ると自分もすぐその後から

見えつ隱れつして尾行した

そして菊枝の入つた黑城町の松村靴店を突き止めると、宙を飛ぶやうにして警察署に馳つけ署長に以上の事實を報告して犯人逮捕の手配りを打合せ、午前二時頃となつたならば署長の名を以て急用だからすぐ歸れと話を掛て與れるやうに頼んで僕は又八景亭に歸り空惚けて菊枝の歸り來るのを待つて居た。

◎鳳凰城に馬賊襲來

八日夜八時頃鳳凰城第三區支那人農家に數十名の馬賊襲來し金品を强奪し逃走せりこの報支那官憲に達せるより目下官憲にて討伐中なり（安東特電）

◎軍馬＝を返すのだ

日本の馬に西伯利の冬は無理だから

◇自動車隊を出す

夕刊所報の如く九日より第三師團下の輜重兵が歸還しつゝあるに付いては戰ひもせず敵地を踏みながら空しく歸るやうに思はれるが決して左樣な

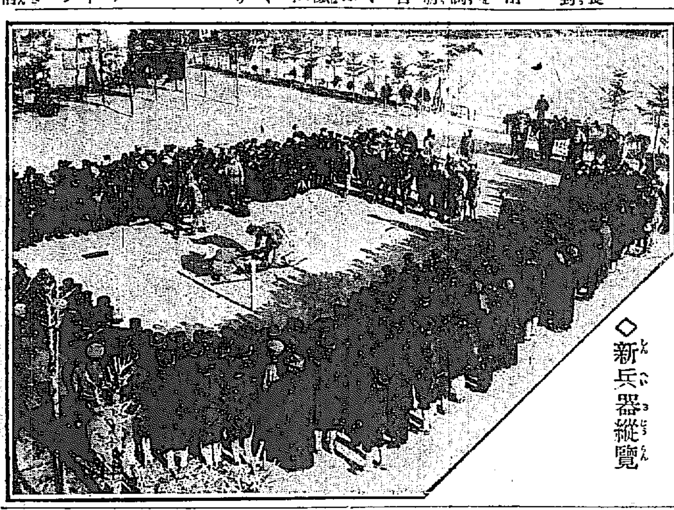
◇◇理由　ではない。日に增し寒氣が强くなつて來ると到底日本の軍馬はその寒氣に堪へる事が出來ないで止むなく逆還する事となつたのである、元來西伯利に在る馬は冬になると氷も食へば雪も食ふと云ふ有樣であるが日本の馬なぞ斯んな事でもさせやうものなら直ぐ大病を起して死んでしまふ、これを以て世人が

◇◇戰爭　は終局を告げたものと早合點なぞせられたらそれこそ大變である、日本は軍馬に代ふるに緻密なる自動車隊を發する理由なのである、と某將校は語つた

◎新兵器の縱覽

十日の在鄉軍人會講演會＝

十日午後二時から帝國在鄉軍人會京城分會では新兵器の縱覽及講演會を開催したるが島崎分會長の總會を開くべかりしも分會評議員會の決議に基づき變更して斯は講演會になしたりとの挨拶ありて龍山七十八聯隊三原大隊長の『歐洲戰亂について』の講話あり續いて三年式機關銃に就きて詳細なる說明あり聽衆は在鄉軍人、各學校生徒等なりしが中には婦人連の姿も見ゆたるは喜ばしかつた、尚此日龍山分會でも午前八時から總會を開き引續いて射擊大會を催し京城と同じく講話、說明等ありたるが來賓の主なる人は旅團長、前田大佐南聯隊長、鹽澤將務部長等その他多數であつた。



◇新兵器縱覽

◇京城音樂界◇ —6— 琵琶

外面に向つて戰ふ勇氣が

宍戸男爵等

◇宍戸男爵◇

他處から見た京城の琵琶界は盛んにもまた美しくも見ゐるので御座います、實際に來て見ると盛んな事は成程盛んですけれ共私の目に映じた時には決して美しいとは思ひませんで、むしろその內容の赤裸々な醜態を見せつけられては斯界のために悲しまなければならなくなりました、他の音樂界の人達は口をそろへて申します

◇『琵琶界など、同一に

◇論じられては少々迷惑致します』と、ますく以て寒心すべき現象では御座いませんか、然し琵琶界と云へば筑前橘流の旭鶴一派は天下と云つても好い位でその他には薩摩の錦心流に松井潮水氏が仕事の餘暇を以て教授して居られる位であります。橘流と旭鶴ふ鶴流も旭翁が東京で専ら名を走せして居る時に京城にも宗家が朝鮮に敗殘の身を寄せさげたに過ぎないので今では全く其の命脈を絶つたと云つても差しつかへは御座いますまい、天下の橘流も決して藍沼したとのみも云はれますまい今

◇兒島幸子孃◇（十七日朝刊參照）

◇その道の人　を訪うて談を聞くには餘りに其人の多いので當を缺くものと思ひまして私の目に映じたまゝを記しませう、隱れたる（或點に於てはさうでも御座いますまいが）宍戸男爵の如き名望家もあつて現在名ある敎師としては村旭江、阪井旭水、三原旭翠、富谷旭蓮、松岡旭愛、嵯峨崎旭舶、佐川旭茜、鶴川旭江、濱村旭砂、小泉旭漾、水波旭子、加徳旭簡、橋本旭彩、石田旭藻、藤田旭皓、玉村旭掬、本多旭映、富岡旭賞等目まぐるしいだけゐらつしやいますまた

◇研究中の方　では先頃大邱の慶北第二部長に轉じられた大庭氏の令子夫人、日之出小學校長河合氏の夫人等おありです、後援者としては辯護士榎本隆氏その他おありのやうですから、今少し各教師が頭を作つて人格の養成につとめられたら內外共に美しい琵琶界が作られる事で御座いませう內輪のゴタ〳〵をやめて外面の敵に向つて戰ふだけの勇氣が欲しいもので御座います

◇器樂として　また琵琶樂として日本音樂中最も古き歴史と高尚なる經歷を有する琵琶樂が墮落音樂として目されると云ふ事は大いに悲しむべき事でありますから、先生達はこの際努力一番少しは藝術の仲間入りして恥かしくないだけの人格と度量を養成せられん事を餘所ながら希望して居ります（夕）

◎龍山武德館開館

十日午前九時から元町小學校で武德館の開館式が行はれ正午からは引續き紅白の大試合があつたが中には大人も及ばん程の少年劍客も居りて觀覽者を驚かして居た、京城からも劍客の出席があつて盛會裡に午後五時閉會六時からは祝宴が元町憲兵隊道場で開かれた

◎四溫日和が馬鹿に寒い

賣出した燃料

今年は例年に比して早冷の方で、らが半ば落葉した街並樹の枝頭から冬は來てこの數日寒い日ばかり打ち續く十日は一天高く澄み渡りなかく〳〵の四溫日和だつたが實際は骨を刺すやうな風が吹いて非常なる寒威を覺ゑた京城測候所の觀測によると十日朝六時の氣溫は零下二度九分を示し昨年の同日同刻に比し九分ばかり低溫だつたと云ふ序に俄に寒氣が募つた結果暖爐や炬燵類の需要が激增し石炭、煉炭、松薪なぞの燃料が素晴らしい勢ひで賣る相である

◎今村醫院の治療時間

五箇年間土曜日診査局囑託醫たりし今村、八氏は今般同局を廢止と共に退職し若草町に於て普ら一般の診療に從事する事となりたり時間は午前より午後のみなりし診療を午前より開業すべしと

家傳らい病藥
得難き…涙出で眉毛ぬけ、鼻おちさき手足しびれ水ぶくれ等其他あらゆる病に特効の藥…三錢切手送附あれば…首報す
神戸楠町二丁目　本家　石井佐兵衛

一番ヨクキクかぜねつ藥
蛇印アンチピリン丸
▲特長　◈最新高尚　◈藥の配伍　◈絶對に副作用なし。◈胃中に溶解し易し。
▲主效　■感冒、ネツ　■インフルエンザ　■頭痛、麻疹　■リウマチス、オコリ
▲藥價　十錢、十五錢、廿五錢、五十錢
本舖　大阪　東京　丹平商會
賣捌は全國各藥店

京日案內
普通一回前金七拾錢　番外壹回前金…
▲申込は後掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に豐割引の事
▲照會は返信附にあらざれば回答せず

番外

年金恩給　低利長期御時立　四年半迄保險不要　◎京城永樂町一
商品陳列館表門前下角　江州屋本店

看護婦募集　派出多忙
京城壽町九　電話一貳八八　京城看護婦會

醫師一名招聘
希望の方は履歴書御送附あれ
京城永樂町　村上病院　内科　小兒科

女中入用　廿才前後品行宜敷者本人來談
京城南山町　松園　電話一八五番

店員募集　運送業に經驗ある者の自筆履歴
書携帶本人來談あれ
京城蓬萊町一ノ九〇　平田運送店

御料
御園白粉
十數年の間引續いて高貴の御料に召させらるゝ光榮ある御園化粧品
誰方の肌にも濃淡自在に美しく着き上品な化粧榮えのする御園白粉

GOSPEL　男女　強壯劑　ゴスペール
陰萎にゴスペール本劑は身體の營養強健を主眼とし…
神經衰弱　性陰萎　精神的陰萎　衰弱　性射精・早漏・夢精・遺精
東京市下谷區長者町　竹島製劑所　吉田為玩堂

產科　婦人科
二宮醫院
京城壽町　電話一二〇一番
醫學士　二宮亮吉

一個金一圓七拾錢　外に送料五十錢
見本一個は一切割引せず
朝日式經濟ランプ　東京市本鄕區湯島天神町一の八　振替東京四三二四六番
特約大販賣元　大畑商店洋燈部東京支店
本店　埼玉縣川越南町　大畑宗五郎商店

大改良經濟ランプの特長は何？
◎火災を恐るゝ人◎光力を望まるゝ人
◎經濟を論ずる人◎石油は普通ランプの半額
◎如何なる強風にも堪へ得◎堅牢無比
價格安價實用に適す
△特約代理店募集　御希望の方は特に御相談に應ず
特約と經濟之一例

潤宮九星家相易書說明　內容詳細　目錄　御申越次第無料送呈
東京市神田區錦町一ノ三　永樂堂書店　易書類專門出版發賣

開店披露
新築中ノ營業所竣成來ル十一日ヨリ開店致候間多少ニ拘ラズ御取引願度御挨拶
旁謹告仕候
大正七年十一月
株式會社　十八銀行新龍山支店　漢江通十三番地

一部無代進呈
全國各地に有利なる支局を開設す申込者に規定送附す
金儲
望む方は日本唯一の實益記事滿載せる◎貨殖新聞をお讀み下さい
發行所　大阪九條　貨殖新聞社◎大阪宮島貨殖新聞社事務所

京城龍山各地に僞物あり御注意
百貨
りん病　ばいどく　帝國醫科大學病院…
分析料百圓進呈
にせ物と奸商　にせ物　大阪有田
南大門外　多商會　大阪有田　黃金町三丁目
京城南大門外停車場通
大阪有田ドラッグ

ぢんぞう
腎臟炎にて蛋白質排泄し困難せらるゝ慢性と雖も効驗著しき良藥あり同病の方は…
龍山練兵場前停留所ドラッグ支店

亡信次郎葬儀の節は御多用中態々御會葬被下御懇情難有肝銘の至に奉存候貴名伺洩モ可有之不取敢以紙上御禮申上候
大正七年十一月十一日
男　橋本清
親族一同
友人一同

母と子 (十九)

北島春石作 森田久畫

思はせ振(二)

『いいえ、別に。』とお增はさあらぬ體『何ともございませんよ。』

『すると、僕の觀察違ひかな。』と、鐵造は猪口を離さず『わざ〱今日出かけたのは、高松さん御夫婦が狼狽して居られやうと、それを氣の毒に思つたからだが……』

『何をでございませう。』

『いや、何でもよろしい。』と、わざとらしき哄笑ひに紛らして『今日は一度も顏を見んが、志保子さんは御在宅ですか。』

『ねー志保子でございますか。』

『左樣。』と頷いて『岸上家の件でお耳に入れたい事がある。御在宅ならば、一寸こゝまでお呼びくださらんか。』

今までは何氣ない體を裝ふてゐたが、志保子の名が持出されると、お增は見苦しいほど狼狽した。

『實はその、その志保子でございますがね。』

『相變らずの悲觀的氣分につゝまれ、一間に閉籠つて快々してゐるんですか。』

『さう云ふ譯でも………』

『ぢや、何うしたんですな。』

お增は打明けてよいやら惡いやら、良人さへ在宅ならば、こんなに一人で苦しまずとも濟むものを、と、三日も四日も歸宅しない朔平のみが怨まれて答辭もない。

『あッは…、何うされたんです。』と、鐵造は嘲り氣味『貴女がお打明け難くば、僕から切出しても宜しいがね。』

『では、何かお聞き込みにでも…』

『他から聞き込んだのぢやない―現に僕が目撃したんです。』と又ぢろ〱『志保子さんは、一昨日家出をされた筈だが。』

お增は屹と顏色を變へた。この高松の家の後妻となつてから、今じはもの三人の母になつてゐる。その點から、生さぬ仲の面も出戻りの志保子などに愛情の迸かう筈もないが、相場師を良人に持つ身は、荒海を渡る小舟も同然。金があつてあるにならず、無いが又無いとのみも言はれず、その時の手の打ち方一つで、一夜大盡にもなれば乞食にも零落る。現に二三年前までは、五十萬と噂のかゝる身代、自動車を三越や帝劇へ飛ばせた體もあれ、今では住む家さへも二重三重の抵當。手の屆く限りは、彼方此方の高利貸から七所借りし、それでも防禦のつかぬ沒落の間際。

そこへ三年前から、嫁いで出戻りの身を寄せてゐる志保子。

『わゝ、何て意氣地なしだらう。』とは嘆みながらも、黄金に不自由のない中は、大して氣にもかけなかつたが、近頃ではその沈み顏を見ただけでも胸糞が惡い。

さうまで憎惡をかけた志保子が、ふつと家出をしたのは、却つて厄介拂ひをしたやうにも思はるゝが、自分に二人までも妙齡の娘がある。にも關はらず、近頃あちこちから志保子に對する縁談の申込。今日も押し掛けて來た佐久間鐵造も又その一人であつた。

『あんな出戻の何處がいゝのだらう。』と、縁談の口が一つ宛殖る度に、お增は忌々しくも業腹で堪らなかつたが、まかり違へば破産の憂目を見る逆境に逐詰られた、その志保子を成る可く財産家へ縁付け、それを手蔓に企み引出さなければ、とても高松家の家運挽回は覺束ない。

と、煎じ詰めて考へたらば、三年の間を箸のあげおろしにも『出戻り〱』と目の敵にした志保子が、今ではその家にとつて唯一の寶である。

その大家の寶物が、良人が不在中なる一昨日の夕間暮に、何處ともなくふつと姿を昏ましたのだから、いつになくお增の元氣ないのは道理。

そんなこんなの經緯で氣を腐らせてゐるところへ、ぶらりと尋ねて來た鐵造から、志保子が家出を……と圖星をさゝれたので、お增は靜からぬ驚に打たれたのである。

◎結婚の贈り物 祝ひ返しは仕來がある

十一月は結婚月と申されて居ります程で、世間の御樣子も忙しい事で御座います、結婚の贈り物も大抵昔からの習慣で定つて居りますがこれは殊更縁起事を氣にするものですから豫めその邊を拔かつてはなりません。殊に老人のある所ですと物忌みをしたり、縁起を祝つたり兎角面倒なもので御座いますから贈る方でも心して、同じ模樣物にしましても櫻、紅葉などは散りやすいと申して忌みますし

◇色も紫、水色淡紅色などはさめ易いと申して嫌ひますから贈る品物は申すまでもなく袱紗や盆などの色や摸樣などにも不注意のないやうにしなければなりません

それで普通結婚する男子の方への贈り物は袴地七子の羽織地などで御座いますが小さくすればカフス釦でもネクタイでもハンケチでも宜しいだらうと存じます又

◇花嫁 なれば帶地紅白の縮緬、反物類などで御座いますが小さくしては紅白の帶上げを縮入にしたもの扱帶などもなか〱美しい贈り物となります其他先方の身分に應じて直新世帶に役に立つ世帶道具を贈ることが大層面白いと存じますさうすれば實用になり永く記念となることですからこちらの好意がよく徹底いたします

◇婚禮祝の返し 婚禮祝ひのお返しには昔から極つた仕來りがあります例へば紅白の餅用紗などに鰹節を添へるのでありますこの習慣は別に虚禮でもありませんしこれに倣つて間違ひがあることも思はれませんが併し近來はそれらのものに寫眞をつけてお返しする方が多いやうで御座いますこれは一寸したことながら誠によい思ひつきで贈る方も受ける方も充分に

◇記念の意味を味はふことが出來至極結構だと存じます、すべてこの邊のことは贈り物をしたりお返しをしたりする人の誠意一つで何うにでもよい思案が思ひつくもので御座いますつまらぬとのやうでも誠意が現はれてゐるとは禮儀式の上に缺くべからざることだと存じますなほ婚禮祝ひのお祝ひをして下さつたお方を全部お招きをして心づくしの饗宴を張るといふのも面白い方法且つ當然のことで御座いませうさうしてこの饗宴にお返しの意味を籠めてしまふ所も近頃少くないやうです

◎松田芳宙氏 本紙俳壇の選者なる松田芳宙氏は永登浦郵便局長に轉任五日夜着任せり

◎日支貿易近況

日支の經濟關係は日に月に密接を加へ來りたるが就中之れを日支貿易[illegible]く缺乏せるが爲め動もすれば各地の金融逼迫し取引圓滿ならず且つ[illegible]次の政變に市況不振を極めたるに加へ[illegible]るにより日支貿易の發展上大に見るべきものあり即ち對支貿易輸出額は大正五年に於て二億三千萬[illegible]

▲六割七分の增加にして輸入に於て約三割の增加也更に本年に入りては一月乃至四月迄の輸出額[illegible]易額の增加は物價騰貴に基づくこと論なしと雖も一面數量の增加を見たる事も事實なりこは是れ勿論[illegible]り關稅收入の如きも大正二年の四千三百九十六萬九千八百五十二兩より大正六年に至りて三千八百十八[illegible]少は却つて國帑內府の支入經濟を建直ならしめたるものなり而して日支貿易上物資の種目に就て見るに[illegible]四百萬圓より二千萬圓に增加したるが如き注目に値す次に輸入品中[illegible]云ふべし要するに對支貿易の趨勢に[illegible]

讀者の領分

近頃各官衙で[illegible]に草履や下駄を併ずる事は非に好ましくなつた事は[illegible]穿つ者には甚だ困る事である入口に「土足一先禁ず」と書いて置く以上は土足も此土足なる語には多大の疑問がある下駄は下駄の類のみであるらしいが[illegible]で來た者には當然提供しなければならぬものであらうに下駄で上るなど履は滅多に貸さない、ふ矛盾が出來る、先で感官の如く受付の口から發せられるは奇怪至極な事では無からうか或受付は用度で草履を買つて吳れぬからと[illegible]してゐる者もあつたが用度係が買つて吳れぬから下駄を穿く者は草履を持つて歩けと云ふ理由にはならぬ此面倒は大きな所へ行く程甚だしい(日本の服物使用者)▲此在京城花柳界な[illegible]した龍山の若い吳服商人某が近來[illegible]つてポプラの落葉と同じに今は破れ服を落ちて歩いて居るのを見るにつけても京城に基礎の固い青年會(勿論一般的のものでなく)を起して時々會合し精神修養を講じ相く樣にして横道に外れあい青年を善導して行く事に盡力したいものだと思ふ同感の士はなきや(京永の代讀者)

新刊紹介 (到着順)

▲新家庭(三の十一) 美しき裝紙口繪その他寫眞等多く本文の讀み物も多趣味多方面なり(四十錢東京芝公園九號文社)
▲農業世界(十三の十四) 農業に關する知識・驗談等豐富なり(二十錢東京博文館)
▲財政經濟時報(五の十一) 財政經濟に關する價値ある材料豐富にして財界の羅針盤といふべし(三十錢東京々橋區服町一の一社)
▲婦人畫報(一五三) 鮮麗なる繪畫寫眞多數にして讀み物も實際向きの有益多趣味なる記事豐富なり(四十錢東京一東京社)
▲赤帽(二の十一) ショウサンドに關する好參考資料多し(十錢東京下谷天王寺二五赤帽發行所)
▲新日本人(二の十一)(三十錢東京下谷金五七五共社)
▲安東商業會議所統計年報(一冊三十錢安東商業會議所)
▲書道(小野鵞堂主幹) 書道の講義及び研究上の有益なる談話作文法其他を載せ小野氏の手本及び古名家の筆跡を添へたるが小野氏の手本は普通行草書假名手紙の外世間に類なき楷書及び細書をも收めたり(三十錢東京神田猿樂町三の一斯華會)
▲實業公論(世界號) 四十五錢東京牛込若宮町四共社
▲家庭顧問(一一) 婦人の化粧美容法に關する記事を掲ぐ(十錢東京麹町區幸町一の六化粧研究會)
▲實生活(一一) 十五錢東京芝伊皿子町四二共社
▲一大帝國(三の十一) 十六錢東京芝琴平町二共社
▲國語教育(三の十一) 二十五錢東京牛込白銀町二十育英書院
▲養雞と園藝(五の十一) 十五錢兵庫縣武庫郡明石共社
▲東洋時報(二四二) 五十錢東京麹町內山下町一の一東洋協會
▲極東時報(七十七號) 純佛文五十錢東京麹町內幸町一の五共社
▲東洋皮革新誌(一六七) 十錢大阪東區內淡路町二の七七共社
▲帝國圖書館大正六年報摘要(帝國圖書館)
▲我が家(十一月號) 五錢東京麹町區飯田町一の五二帝國在鄉軍人會本部
▲革新時報(二の三) 東亞時論改題十錢東京小石川柳町二四革新社
▲良民(十月號) 五錢東京麹町平河町五の三六共社
▲保育の園(十二) 神奈川縣鎌倉町大町六〇七鎌倉小兒保育園

外科一般 皮膚科 花柳病科 泌尿器科 安部修二
京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 長電話四一九

▲甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▲咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲
河合龜太郎氏創製
本邦及英米國政府專賣特許滋養強壯料
◎肝油ドロップス

◎肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及可溶性含窒素物より成る滋養強壯料なり。
◎復方肝油ドロップス 肝油の半量を蛋白質に換へ更に有機鐵有機燐石灰及び規那等を含有せしむ。

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用
五歳以下 一回一顆又は二顆 一日二顆乃至三顆
十歳以下 一回二顆又は三顆 一日四顆乃至六顆
十五歳以下 一回三顆乃至五顆 一日六顆又は八顆
大人 一日八顆乃至十五顆

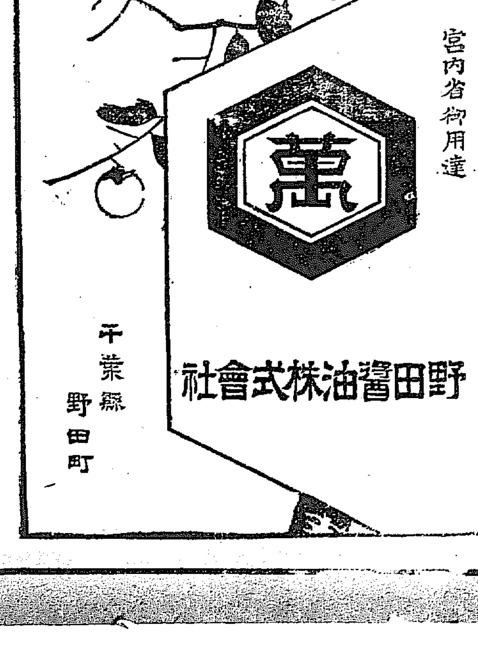
用法 普通菓子の如く食すべし、又は細かに刻み冷水或は微温湯にて嚥下にするも妨げなし
定價 五十顆入 七十錢 百二十顆入 一圓四十錢 復方百二十顆入 一圓五十錢 內地以外は別に稅金實費を加ふ

肝油が一般の虛弱者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑にして、內科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、能く卓効を奏するは、醫療上の定論なり。然れども其特有の臭味甚だ不快にして消化亦困難なるが故に服用を嫌忌せらるゝ憾あり、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓子ドロップスに似し、麥芽糖及可溶性含窒素物を基礎とし、更に種々の强壯劑を配合し、一顆毎に精製肝油の含有量を正確にし、乳化完全にして消化吸收の速なる、芳味無臭の『肝油ドロップス』を創製す。本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に頗る便利なる事、携帶の便、消化吸收の迅速等の缺點なく、普通の菓子同樣容易に食用し得る事と、酷暑の候と雖も冬季と異ならざる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所なり。

▲如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし▲
一、顏の色が蒼白くて艶の無き人
一、皮膚の紋理が粗くザラ〱してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是と云ふ病氣はなくても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の引立て痩せてゐる人
一、手足が冷て寝られぬと云ふやうな纖弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、そして[illegible]うこす人
一、消化器病ならぬ所謂腺病質の小兒
一、頭が細長く、頰が痩せ、咳や痰の人並より多く出る人
一、肺結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、活潑な働きをせんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顏や手先を滑つこくしたき人
一、產前產後病後の滋養を計る人
一、骨の故障即ち佝僂症脊椎軟化
一、其他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である。

▼如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし▲
一、骨の故障即ち佝僂病脊椎軟化
一、其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來る眼病例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核性の病に罹つてゐる人
一、神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器病
一、[illegible]衰弱に罹れる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である。

ミツワ石鹸
ミツワ家庭藥
人蔘葡萄酒
規那鐵葡萄酒
ミツワ椿油
御園化粧品
發賣元
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑滋養品、石鹸香粧品小間物問屋
登錄商標 丸見屋商店
營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇 振替貯金口座東京七一〇番 電信略號(〇ミヤ)



ABK
株式會社安部幸兵衛商店大阪支店
大阪市南區末吉橋通二丁目
機械電氣部
機械工作所
製品課目
陸船用汽機、各種喞筒、鑛山用
肥料用諸機械、電氣捲揚機、
一般工作機械、傳導裝置一式
電話長船場 〇〇〇〇〇 三三三三三 四三二一〇

モーター (半馬力以上三百馬力迄)
發電機 變壓器 配電盤 諸材料 在庫豐富
株式會社奥村電機商會總代理店
大阪市南區末吉橋通二丁目
株式會社安部幸兵衛商店大阪支店

人蔘ニ優ル强壯劑
淫羊藿エキス(いんやうくわくえきす)
通稱三枝九葉草エキス
適應症 一、思考判斷及び記憶力の減耗を癒す 二、精神過勞、疲勞を恢復す 三、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す 四、產前產後及病後の衰弱 五、血の道頭痛眩暈症 六、子なき人に良し 七、貧血虛弱に良し 八、手や腰の冷ゆるに良し 九、陰痿遺精及子宮病に良し
主効 神經衰弱、胃腸病、貧血症、腎臟病、肺病、ヒステリー、ヒポコンデリー、リウマチス、生殖器病、老衰、精力減退
定價 二十五入壹圓 三十五入壹圓五拾錢 四十五入壹圓九拾錢 五十五入貳圓參拾錢 送料內地二十錢 鮮外廿錢
全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

通經新藥レスクリン 月經
閉止四五ヶ月以內に確實の流經作用を以て容易く應用の目的を達し其效果仙登に優越す藥價一瓶壹圓二拾錢送料十錢切手添申越進呈說明書三錢切手
大阪北區曾根崎上二丁目三六番地 常盤藥院

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
電話長五八番 一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御取扱申候
爲換取組先は內地各方面竝朝鮮樞要の地に有之